

# 鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事

## 図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	M - 01 表紙・図面リスト	NO SCALE	21	M - 18 空調・換気設備 改修前 機器一覧表	NO SCALE
2	特 - 1 機械設備工事特記仕様書(1)	NO SCALE	22	M - 19 空調・換気設備 改修前 1階・2階平面図(配管)	S = 1 / 100
3	特 - 2 機械設備工事特記仕様書(2)	NO SCALE	23	M - 20 空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(配管)	S = 1 / 100
4	特 - 3 機械設備工事特記仕様書(3)	NO SCALE	24	M - 21 空調・換気設備 改修前 1階・2階平面図(ダクト)	S = 1 / 100
5	M - 02 案内図・配置図	S = 1 / 1000	25	M - 22 空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(ダクト)	S = 1 / 100
6	M - 03 建築断面図・防火上主要な間仕切平面図	S = 1 / 100, 150, 500	26	M - 23 空調・換気設備 改修前 外構配置図(計装)	S = 1 / 300
7	M - 04 空調・換気設備 改修後 機器一覧表・凡例	NO SCALE	27	M - 24 空調・換気設備 改修前 1階・2階平面図(計装)	S = 1 / 100
8	M - 05 空調・換気設備 改修後 系統図	NO SCALE	28	M - 25 空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(計装)	S = 1 / 100
9	M - 06 空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図(配管)	S = 1 / 100	29	M - 26 暖房設備 改修前 1階・2階平面図	S = 1 / 100
10	M - 07 空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図(配管)	S = 1 / 100	30	M - 27 暖房設備 改修前 3階・R階平面図	S = 1 / 100
11	M - 08 空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図(ダクト)	S = 1 / 100	31	M - 28 給排水衛生設備 改修前 系統図	NO SCALE
12	M - 09 空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図(ダクト)	S = 1 / 100	32	M - 29 給排水衛生設備 改修前 1階・2階平面図	S = 1 / 100
13	M - 10 空調・換気設備 改修後 外構配置図(計装)	S = 1 / 300	33	M - 30 給排水衛生設備 改修前 3階・R階平面図	S = 1 / 100
14	M - 11 空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図(計装)	S = 1 / 100	34	M - 31 給排水衛生設備 改修前 各階便所詳細図	S = 1 / 50
15	M - 12 空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図(計装)	S = 1 / 100			
16	M - 13 給排水衛生設備 改修後 機器表・衛生器具表・凡例	NO SCALE			
17	M - 14 給排水衛生設備 改修後 系統図	NO SCALE			
18	M - 15 給排水衛生設備 改修後 1階・2階平面図	S = 1 / 100			
19	M - 16 給排水衛生設備 改修後 3階・R階平面図	S = 1 / 100			
20	M - 17 給排水衛生設備 改修後 各階便所詳細図	S = 1 / 50			

記 事	設計業務名	仙 台 高 等 専 門 学 校	鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	工 事 名 称	日 付	総 数
	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務	施設課長 課長補佐 係長 担当	事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	01/34
	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士 一級建築士登録 第242551号 植田 亮	検 図	担 当	図 面 名 称	縮 尺	番 号
				表紙・図面リスト	1/	M-01

機械設備工事特記仕様書				
1. 工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事			
2. 工事場所	三重県鈴鹿市白子町(鈴鹿工業高等専門学校構内)			
3. 完成期限	平成27年 2月 5日(木)			
4. 工事の種類規模等				
工事範囲表				
棟名称	管理棟	管理棟		
建工種	模様替	増築		
構造・階数	R 3	S 3		
概建築面積	587.43㎡	20.40㎡		
要延べ面積	1,750.71㎡	48.66㎡		
建物使用の有無	・有	・無		
空気調和設備	・	・		
屋暖房設備	・	・		
換気設備	・	・		
内給水設備	・	・		
排水設備	・	・		
消火設備	・	・		
給湯設備	・	・		
備ガス設備	・	・		
	・	・		
	・	・		
屋空気調和設備	・			
外暖房設備	・			
その他給水設備	・			
排水設備	・			
消火設備	・			
備ガス設備	・			
	・			
	・			
一般特記事項				
1. 総則	(1) この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書3枚、図面31枚、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)、文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)、公共建築設備工事標準図(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)、文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成25年版)、及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。 (2) 特記仕様書の適用方法 1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項については、印を付した事項のみ適用する。 2) 表中の各欄に、数字、文字、記号等を記入する事項については、記入してある事項のみを適用する。 3) ―印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。 4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取り扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 5) 左欄の( )内の数値は、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)(以下、「公共改修仕様書」という)及び文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)、(以下、「文科仕様書」という)の該当項目番号を示す。			
一般共通事項				
1. 実施工程表(公共改修仕様書 第1編1.2.1)	概成工期 平成27年 1月22日(木)			
2. 電気保安技術者等(公共改修仕様書 第1編1.3.2)	この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。 電気保安技術者 項目名 1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者 3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 6. 第1種電気工事士の資格を有する者 7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者 8. 第2種電気工事士(旧電気工事士)の資格を有する者 9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者 工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。			
3. 施工条件(公共改修仕様書 第1編1.3.3)	休日等に工事を行う場合は事前に監督職員に連絡の上、施工すること。			

4. 施工中の環境保全等(公共改修仕様書 第1編1.3.9)	低騒音型・低振動型建設機械の使用 本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日 建設省告示1536号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 排ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、又は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定」(平成18年3月17日 国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型機械と同等と見なす。ただ、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。
5. 環境への配慮(公共改修仕様書 第1編1.4.1)	機 種 適用 バックホウ ディーゼルエンジン(エンジン出力8kw、560kw以下)を搭載したものに限る ホイールローダ ブルドーザ 発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む) 空気圧縮機(可搬式) 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したものをローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)を搭載したものに限る ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン) ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下「本工事関係車両」という。)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。 受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。 受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。
6. 機材の検査等・機材の検査に伴う試験(公共改修仕様書 第1編1.4.4.5)(公共改修仕様書 第1編1.4.6)	監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。 機 材 名 検査試験 備考 ・ ・ ・ ・
7. 技能士(公共改修仕様書 第1編1.6.2)	・配管(配管工事) ・建築板金(ダクト製作及び取付) ・熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空気調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び整備)
8. 一工程の施工の確認及び報告(公共改修仕様書 第1編1.6.4)	下記の工事部分は、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。 工 事 部 分 確 認 ・ 報 告 事 項 ・ ・ ・
9. 施工の検査等・検査に伴う試験・立会い等(公共改修仕様書 第1編1.6.5)(公共改修仕様書 第1編1.6.6)(公共改修仕様書 第1編1.6.7)(公共改修仕様書 第1編1.6.9)	下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。 施 工 部 分 検査立会試験 備考 ・ ・ ・ ・ ・ ・

10. 技術検査(公共改修仕様書 第1編1.7.2)	工事完成時には、下記の完成図等を提出するものとする。 名 称 体 裁 等 部数 ・完成図 原図(A1判) 1部 ・ " 原図(A3判) 1部 ・ " 仮製本(A1判) 1部 ・ " 仮製本(A3判) 4部 ・ " 製本 1部 ・施工図 原図(A1判) 1部 ・ " 仮製本(A3判) 1部 ・機器完成図 2部 ・各種試験成績書 2部 ・諸手続き書類(写) 2部 ・保全指導書 2部 ・工事写真帳 ・電子媒体 ・紙媒体(ファイル綴じ) 1部
11. 完成時の提出図書(公共改修仕様書 第1編1.8.2)(公共改修仕様書 第1編1.8.3)	C A D データ( ・要 ・不要 ) 本工事は、次の書類について電子データ提出の対象とする。 ・工事写真 ・完成写真 ・完成図 貸与する設計図の C A D データ著作者名： ファイル形式：J W W 貸与条件：貸与する C A D データを本工事における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。 提出方法：C A D データファイル形式は J W W ・ J W C ・ D X F 形式とする。 1) 製本は A 4 黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。 2) 表中 印は、一冊にまとめてもよい。
12. 保全に関する資料(公共改修仕様書 第1編1.8.4)	下記に示す機器及びシステムについては、当該機器又はシステムを運用する職員に対しその機能・操作の説明、保守点検の要領及び障害時の対策等を説明するものとする。
13. 足場・仮設間仕切り(公共改修仕様書 第1編2.2.1)(公共改修仕様書 第1編2.2.3)	・図示による ・下記による
14. 監督職員事務所(公共改修仕様書 第1編2.3.1)	
15. 養生(公共改修仕様書 第1編第3章)	
16. 撤去(公共改修仕様書 第1編第4章)	
17. 撤去跡の補修及び復旧(公共改修仕様書 第1編4.2.4)	
18. 発生材の処理等(公共改修仕様書 第1編第5章)	発生材の処理は、下記による。 (1) 引き渡しを要するもの 1)品 名 :空調機器 2)引渡し先 :監督職員の指示による 3)集積場所 :同 上 (2) 特別管理産業廃棄物 1)品 名 3)集積場所 2)引渡し先 4)集積方法 (3) 現場において再利用するもの 1)品 名 2)使用場所 (4)再生資源化(再利用)するもの 1)品 名 銅管類、放熱器 (5) 関係法令に従い適切に処理するもの 1)品 名 保温材、配管のフランジ部分のパッキン、空調機等
19. 工事の区分	建築工事、電気工事、機械工事、土木工事等の工事区分

項 目	工事区分	建 築	電 気	機 械	E V	備 考
コンクリート穴あけ	鉄骨工事鉄管スリーブ入れ	・	・	・	・	・ 墨出し共
"	梁、壁木製型枠入れ	・	・	・	・	・ 墨出し、補修除く
"	梁、壁スリーブ入れ	・	・	・	・	・ ボイド等
"	床スラブ木製型枠入れ	・	・	・	・	・ 墨出し、補修除く
"	床スリーブ入れ	・	・	・	・	・ ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	・	・	・	・	
既設コンクリート		・	・	・	・	・ 墨出し共
床・壁 はつり穴あけ		・	・	・	・	
既設コンクリート	鉄筋切断及び補強筋入れ	・	・	・	・	・ 墨出し共
床溝はつり・補修		・	・	・	・	
既設器具・配管・ダクト		・	・	・	・	・ 補強配筋が必要な穴埋めは建築工事
撤去後の穴埋め		・	・	・	・	・ ボード切込、墨出し共
天井開口を必要としないボード等の切開		・	・	・	・	
軽量鉄骨下地開口補強	天井及び壁、ボード切開	・	・	・	・	・ 照明器具、空調吹出口給排気ガラリ等
軽鉄下地開口部墨出し	電気関係開口部	・	・	・	・	
"	機械設備関係開口部	・	・	・	・	
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	・	・	・	・	
床下改め口	改め口取付及び開口部補強	・	・	・	・	・ 墨出し共
流し台	ステンレス製	・	・	・	・	・ 水切り板、同穴あけ共
"	ミニキッチン等(含む排水金具)	・	・	・	・	・ レンジフード、換気扇付付属品共
"	陶器製	・	・	・	・	
水栓・電気温水器		・	・	・	・	
洗面化粧台		・	・	・	・	
鏡		・	・	・	・	
化粧用洗面器		・	・	・	・	
化粧カウンター	洗面器用穴あけ共	・	・	・	・	
ライニングバック		・	・	・	・	
ルーフドレイン		・	・	・	・	
立てどい	防露工事共	・	・	・	・	
雨水排水管	第1樹から排水基幹線までの配管	・	・	・	・	・ 第1樹まで配管
"	幹線の配管	・	・	・	・	・ 第1樹を含む
生活排水、実験排水	建物及び第1樹までの配管	・	・	・	・	
"	第1樹から排水基幹までの配管	・	・	・	・	
"	基幹の配管	・	・	・	・	
アスファルト舗装等 撤去		・	・	・	・	
アスファルト舗装等 復旧		・	・	・	・	
機械基礎		・	・	・	・	
室外機用鉄骨架台		・	・	・	・	
機械用アンカーボルト関係機器	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器	・	・	・	・	・ 墨出し共
機械用アンカーボルト型枠入れ	自家発電機その他電気設備関係機器	・	・	・	・	・ 墨出し共
屋外貯油槽	地下式	・	・	・	・	
共同溝	歩床コンクリート共	・	・	・	・	
建築、共同溝接続トレンチ		・	・	・	・	
同上接続部止水板		・	・	・	・	
防火用水池		・	・	・	・	
防火用水池用給水管		・	・	・	・	
各種槽類	コンクリート製	・	・	・	・	
"	S U S、F R P 製	・	・	・	・	
換気扇取付		・	・	・	・	・ 天井扇等・全熱交換機タイプ含む フード共
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	・	・	・	・	
同上用配管配線		・	・	・	・	・ スイッチ、配管は機械設備
外壁取付ガラリ	給排気用	・	・	・	・	・ V C は機械設備
内壁取付ガラリ		・	・	・	・	・ 遮光ガラリ共
ガラリへの給排気ダクト接続		・	・	・	・	
煙感知器連動防火戸		・	・	・	・	
同上用感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共	・	・	・	・	
防煙防火ダグンバー	リレー取付まで	・	・	・	・	
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで	・	・	・	・	
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで	・	・	・	・	
上記 ~ 用煙感知器	リレーまでの配管配線共	・	・	・	・	
道路側溝用排水	L 型・U 型と管布設	・	・	・	・	
制御盤	制御盤以降の配管、配線共	・	・	・	・	
同上接続(一次側)	制御盤主開閉器までの配管配線	・	・	・	・	・ 接地共
屋内消火栓		・	・	・	・	
屋内消火栓起動リレー		・	・	・	・	
同上表示灯及び起動装置		・	・	・	・	
自動火災報知器		・	・	・	・	
連結送水口	座板共	・	・	・	・	

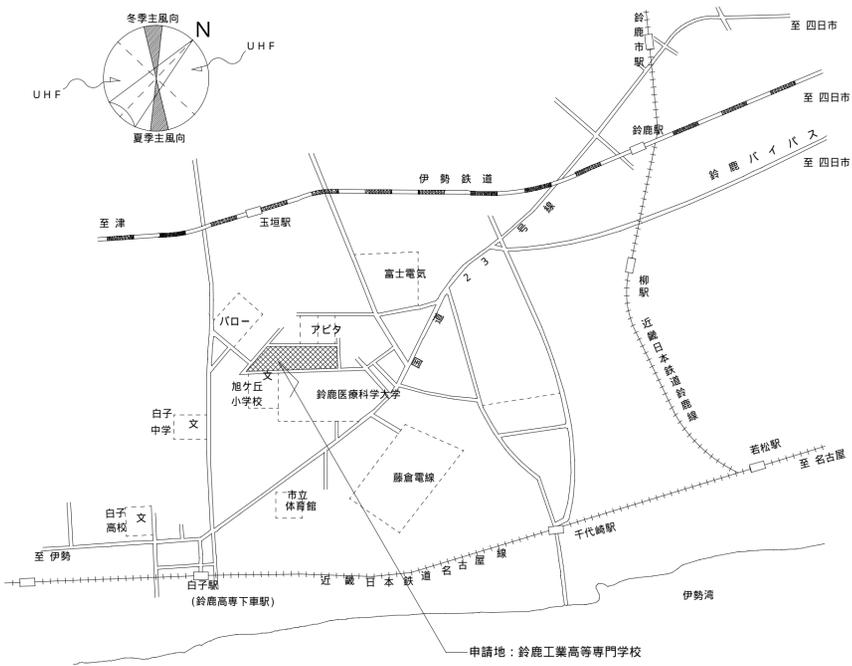
記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	0 2 / 3 4
	検図	担当	株 式 会 社	ミ ュ ー パ ー ト ナ ー ズ	管理建築士 一級建築士登録 第242551号	植田 亮	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担 当	図面名称	機械設備工事特記仕様書(1)	編尺	特 - 1



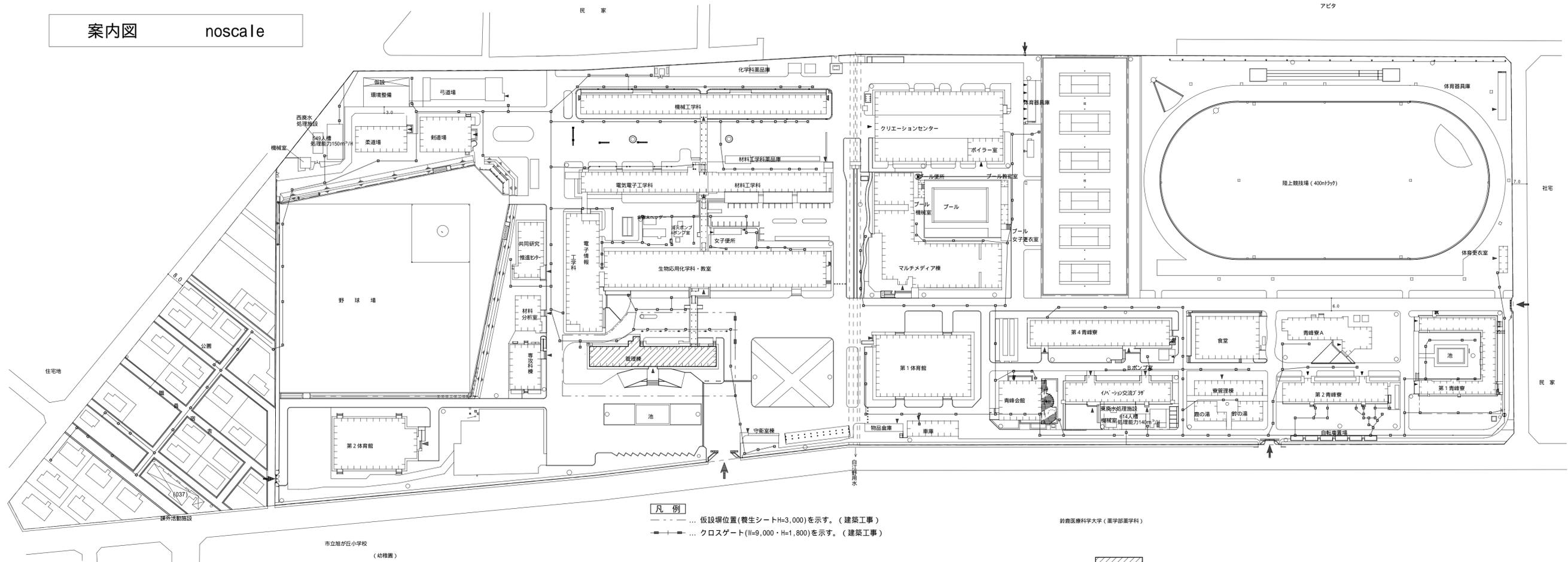
給 水 設 備	1. 一般事項	<p>給排水衛生設備工事</p> <p>給排水工事の種類は、下記による。</p> <p>給水設備 ・市水 ・井水 ・再利用水          ・その他( )</p> <p>給湯設備 ・局所式 ・中央式(給湯温度 )</p> <p>消火設備 ・屋内消火栓( ) ・屋外消火栓          ・スプリンクラー ・二酸化炭素消火設備          ・連結送水管設備 ・その他( )</p> <p>屋内排水設備 ・雑排水 ・汚水 ・実験排水          ・その他( )</p> <p>屋外排水設備 ・汚水、雑排水 ・実験排水 ・雨水          ・その他( )</p> <p>排水放流先 ・構内合併処理施設 ・公共下水道          ・その他( )</p>																																																																																																														
	2. 機材																																																																																																															
	2.1 配管材料等	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般配管</td> <td>・ポリ粉末鋼管( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼管( )</td> <td>拡管式管継手 ハウジング形管継手</td> <td>全系統(50A以下) 全系統(65A以上)</td> </tr> <tr> <td>・塩ビライニング鋼管( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地中埋設配管</td> <td>・塩ビライニング鋼管( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリ粉末鋼管( PD )</td> <td>JJWA K 132</td> <td>屋内地中(土間)</td> </tr> <tr> <td>・ポリエチレン管</td> <td>JJWW 144</td> <td>屋外地中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.2 量水器</td> <td> <p>計器類</p> <p>量水器の区分は下記による。</p> <p>親メーター(・貸与品 ・買取り)          子メーター(・貸与品 ・買取り)</p> <p>量水器樹 標準図による ・水道事業者指定品          ・その他(図面に特記)</p> </td> </tr> <tr> <td>2.3 弁類</td> <td> <p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>弁種類</th> <th>圧力</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・管端防食ねじ込み形弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・青銅弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼弁</td> <td></td> <td>全系統</td> </tr> <tr> <td>・AIH-形ゴムシートクワライ弁</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>2.4 給水装置</td> <td>給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年3月19日厚生労働省令第14号)における基準適合部品を用いること。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">排 水 設 備</td> <td>3. 機材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.1 配管材料等</td> <td> <p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋内汚水配管</td> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内一般雑排水管</td> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用鉛管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般用排水通気管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外排水管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>専用継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.2 排水樹</td> <td>排水樹は、下記による。          ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形)          ・その他(図面に特記)</td> </tr> <tr> <td>3.3</td> <td></td> </tr> </tbody></table> </td></tr></tbody></table>	用途	配管種別	継手種別	施工場所	一般配管	・ポリ粉末鋼管( )			・ステンレス鋼管( )	拡管式管継手 ハウジング形管継手	全系統(50A以下) 全系統(65A以上)	・塩ビライニング鋼管( )			地中埋設配管	・塩ビライニング鋼管( )			・ポリ粉末鋼管( PD )	JJWA K 132	屋内地中(土間)	・ポリエチレン管	JJWW 144	屋外地中									2.2 量水器	<p>計器類</p> <p>量水器の区分は下記による。</p> <p>親メーター(・貸与品 ・買取り)          子メーター(・貸与品 ・買取り)</p> <p>量水器樹 標準図による ・水道事業者指定品          ・その他(図面に特記)</p>	2.3 弁類	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>弁種類</th> <th>圧力</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・管端防食ねじ込み形弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・青銅弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼弁</td> <td></td> <td>全系統</td> </tr> <tr> <td>・AIH-形ゴムシートクワライ弁</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	弁種類	圧力	施工場所	・管端防食ねじ込み形弁			・青銅弁			・ステンレス鋼弁		全系統	・AIH-形ゴムシートクワライ弁			2.4 給水装置	給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年3月19日厚生労働省令第14号)における基準適合部品を用いること。	排 水 設 備	3. 機材		3.1 配管材料等	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋内汚水配管</td> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内一般雑排水管</td> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用鉛管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般用排水通気管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外排水管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>専用継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.2 排水樹</td> <td>排水樹は、下記による。          ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形)          ・その他(図面に特記)</td> </tr> <tr> <td>3.3</td> <td></td> </tr> </tbody></table>	用途	配管種別	継手種別	施工場所	屋内汚水配管	・排水用塩ビライニング鋼管			・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット	・耐火二層管	耐火二層管継手	一般	屋内一般雑排水管	・配管用炭素鋼鋼管(白)			・排水用塩ビライニング鋼管			・排水用鉛管			一般用排水通気管	・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット	・耐火二層管	耐火二層管継手	一般	・配管用炭素鋼鋼管(白)			屋外排水管	・硬質ポリ塩化ビニル管			・遠心力鉄筋コンクリート管			・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	専用継手			・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管			3.2 排水樹	排水樹は、下記による。 ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形) ・その他(図面に特記)	3.3	
	用途	配管種別	継手種別	施工場所																																																																																																												
	一般配管	・ポリ粉末鋼管( )																																																																																																														
		・ステンレス鋼管( )	拡管式管継手 ハウジング形管継手	全系統(50A以下) 全系統(65A以上)																																																																																																												
		・塩ビライニング鋼管( )																																																																																																														
	地中埋設配管	・塩ビライニング鋼管( )																																																																																																														
		・ポリ粉末鋼管( PD )	JJWA K 132	屋内地中(土間)																																																																																																												
		・ポリエチレン管	JJWW 144	屋外地中																																																																																																												
2.2 量水器	<p>計器類</p> <p>量水器の区分は下記による。</p> <p>親メーター(・貸与品 ・買取り)          子メーター(・貸与品 ・買取り)</p> <p>量水器樹 標準図による ・水道事業者指定品          ・その他(図面に特記)</p>																																																																																																															
2.3 弁類	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>弁種類</th> <th>圧力</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・管端防食ねじ込み形弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・青銅弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼弁</td> <td></td> <td>全系統</td> </tr> <tr> <td>・AIH-形ゴムシートクワライ弁</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	弁種類	圧力	施工場所	・管端防食ねじ込み形弁			・青銅弁			・ステンレス鋼弁		全系統	・AIH-形ゴムシートクワライ弁																																																																																																		
弁種類	圧力	施工場所																																																																																																														
・管端防食ねじ込み形弁																																																																																																																
・青銅弁																																																																																																																
・ステンレス鋼弁		全系統																																																																																																														
・AIH-形ゴムシートクワライ弁																																																																																																																
2.4 給水装置	給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成9年3月19日厚生労働省令第14号)における基準適合部品を用いること。																																																																																																															
排 水 設 備	3. 機材																																																																																																															
	3.1 配管材料等	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋内汚水配管</td> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内一般雑排水管</td> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用塩ビライニング鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用鉛管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般用排水通気管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>硬質塩化ビニル管継手</td> <td>土間埋設・ピット</td> </tr> <tr> <td>・耐火二層管</td> <td>耐火二層管継手</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外排水管</td> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>専用継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.2 排水樹</td> <td>排水樹は、下記による。          ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形)          ・その他(図面に特記)</td> </tr> <tr> <td>3.3</td> <td></td> </tr> </tbody></table>	用途	配管種別	継手種別	施工場所	屋内汚水配管	・排水用塩ビライニング鋼管			・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット	・耐火二層管	耐火二層管継手	一般	屋内一般雑排水管	・配管用炭素鋼鋼管(白)			・排水用塩ビライニング鋼管			・排水用鉛管			一般用排水通気管	・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット	・耐火二層管	耐火二層管継手	一般	・配管用炭素鋼鋼管(白)			屋外排水管	・硬質ポリ塩化ビニル管			・遠心力鉄筋コンクリート管			・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	専用継手			・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管			3.2 排水樹	排水樹は、下記による。 ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形) ・その他(図面に特記)	3.3																																																											
	用途	配管種別	継手種別	施工場所																																																																																																												
	屋内汚水配管	・排水用塩ビライニング鋼管																																																																																																														
		・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット																																																																																																												
		・耐火二層管	耐火二層管継手	一般																																																																																																												
	屋内一般雑排水管	・配管用炭素鋼鋼管(白)																																																																																																														
		・排水用塩ビライニング鋼管																																																																																																														
		・排水用鉛管																																																																																																														
	一般用排水通気管	・硬質ポリ塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管継手	土間埋設・ピット																																																																																																												
・耐火二層管		耐火二層管継手	一般																																																																																																													
・配管用炭素鋼鋼管(白)																																																																																																																
屋外排水管	・硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																															
	・遠心力鉄筋コンクリート管																																																																																																															
	・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	専用継手																																																																																																														
	・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管																																																																																																															
3.2 排水樹	排水樹は、下記による。 ・標準図による(・SA形 ・SB形 ・硬質塩化ビニル ・形) ・その他(図面に特記)																																																																																																															
3.3																																																																																																																

給 湯 設 備	4. 機材																																																																													
	4.1 配管材料等	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般配管</td> <td>・ステンレス鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレスチューブ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	用途	配管種別	継手種別	施工場所	一般配管	・ステンレス鋼管			・鋼管			・ステンレスチューブ																																																																
	用途	配管種別	継手種別	施工場所																																																																										
	一般配管	・ステンレス鋼管																																																																												
		・鋼管																																																																												
		・ステンレスチューブ																																																																												
	4.2 弁類	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>弁種類</th> <th>圧力</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ステンレス鋼弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・青銅弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	弁種類	圧力	施工場所	・ステンレス鋼弁			・青銅弁			・																																																																		
	弁種類	圧力	施工場所																																																																											
	・ステンレス鋼弁																																																																													
	・青銅弁																																																																													
・																																																																														
4.3																																																																														
消 火 設 備	5. 材料																																																																													
	5.1 配管材料等	<p>・図示による ・下記による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>配管種別</th> <th>継手種別</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般配管</td> <td>・配管用炭素鋼鋼管</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	用途	配管種別	継手種別	施工場所	一般配管	・配管用炭素鋼鋼管			・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)			・																																																																
	用途	配管種別	継手種別	施工場所																																																																										
	一般配管	・配管用炭素鋼鋼管																																																																												
		・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)																																																																												
		・																																																																												
	5.2																																																																													
	6. 施工	<p>機器を固定する場合の設計用水平震度は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設置場所</th> <th colspan="4">タンク以外の機器</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>・ (2.0)</td> <td>・ (2.0)</td> <td>・ (2.0)</td> <td>・ (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (1.5)</td> <td>・ (1.5)</td> <td>・ (1.5)</td> <td>・ (1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 0.6</td> <td>・ 0.6</td> <td>・ 0.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (1.0)</td> <td>・ (1.0)</td> <td>・ (1.0)</td> <td>・ (0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設置場所</th> <th colspan="4">タンク</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 0.6</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>・ 1.5</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内の数値は防振支持の機器の場合を示す。          重要機器は、下記による。</p>	設置場所	タンク以外の機器				特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	・ 2.0	・ 1.5	・ 1.5	・ 1.0	屋上及び塔屋	・ (2.0)	・ (2.0)	・ (2.0)	・ (1.5)	中間階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6		・ (1.5)	・ (1.5)	・ (1.5)	・ (1.0)	1階及び地下階	・ 1.0	・ 0.6	・ 0.6	・ 0.4		・ (1.0)	・ (1.0)	・ (1.0)	・ (0.6)	設置場所	タンク				特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	・ 2.0	・ 1.5	・ 1.5	・ 1.0	屋上及び塔屋					中間階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6	1階及び地下階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6
	設置場所	タンク以外の機器																																																																												
		特定の施設		一般の施設																																																																										
重要機器		一般機器	重要機器	一般機器																																																																										
上層階	・ 2.0	・ 1.5	・ 1.5	・ 1.0																																																																										
屋上及び塔屋	・ (2.0)	・ (2.0)	・ (2.0)	・ (1.5)																																																																										
中間階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6																																																																										
	・ (1.5)	・ (1.5)	・ (1.5)	・ (1.0)																																																																										
1階及び地下階	・ 1.0	・ 0.6	・ 0.6	・ 0.4																																																																										
	・ (1.0)	・ (1.0)	・ (1.0)	・ (0.6)																																																																										
設置場所	タンク																																																																													
	特定の施設		一般の施設																																																																											
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																										
上層階	・ 2.0	・ 1.5	・ 1.5	・ 1.0																																																																										
屋上及び塔屋																																																																														
中間階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6																																																																										
1階及び地下階	・ 1.5	・ 1.0	・ 1.0	・ 0.6																																																																										

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事		日付	平成26年7月		総数	04/34	
	株図	株図	担当														縮尺	1/		番号	特-3	
	株式会社	ムーバートナーズ																				
		管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮																				



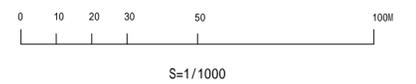
案内図 noscale



配置図 S=1/1000

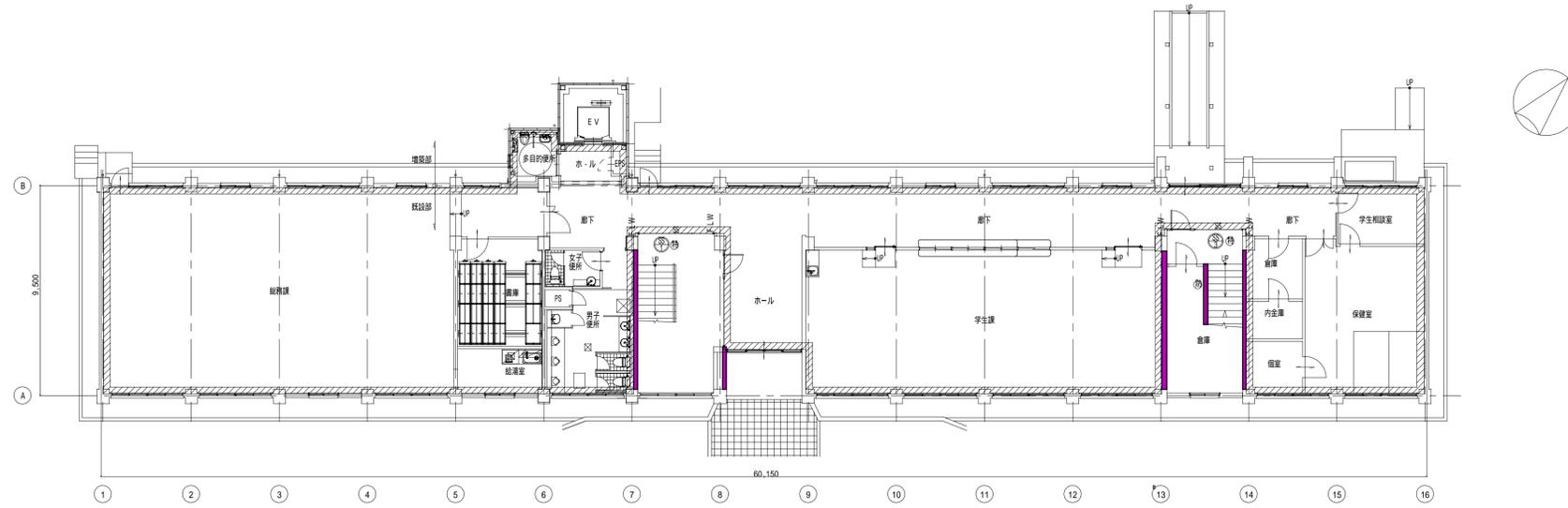
- 凡例**
- 仮設場位置(養生シートH=3,000)を示す。(建築工事)
  - クロスゲート(W=9,000・H=1,800)を示す。(建築工事)

- 本工事建物
- 既設建物

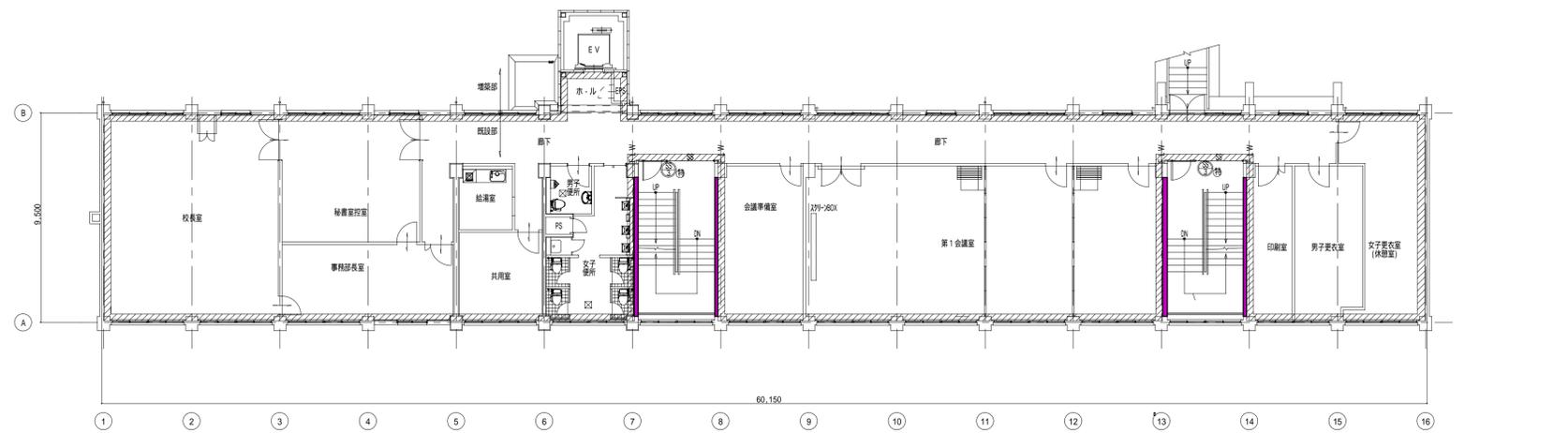


記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事		日付	平成26年7月		総数	05/34			
	株式会社	ムーバートナース				棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	案内図・配置図		縮尺	1/1000		番号	M-02

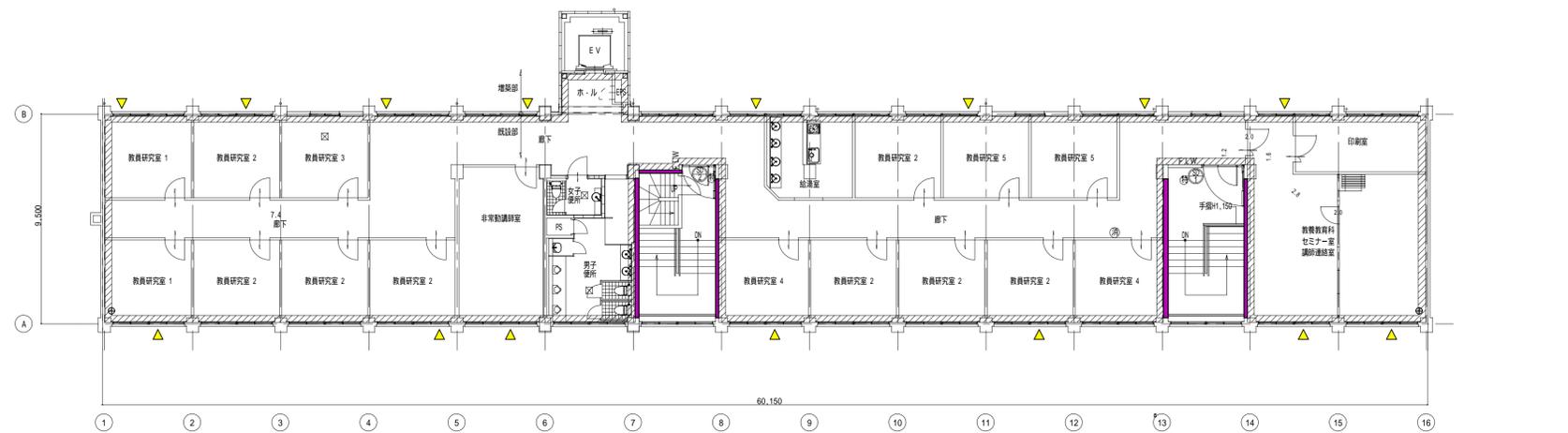
A3版の場合は50%縮尺とする



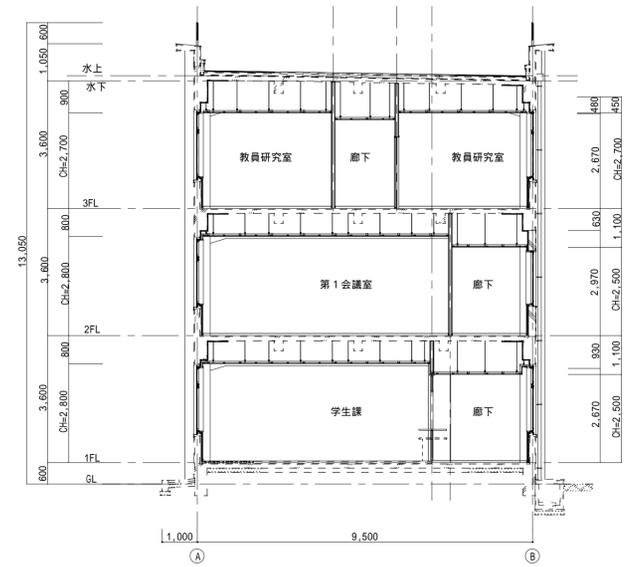
1階平面図 1/150



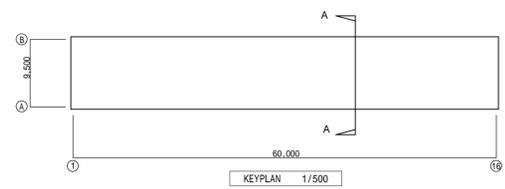
2階平面図 1/150



3階平面図 1/150



改修後 A-A断面図 1/100



KEYPLAN 1/500

凡例	凡例
☑ 消火器 (露出消火器BOX)	代替出入口 (幅75cm以上、高さ1.2m以上) 10m以内
⊕ 特定防火設備	直通階段に至る歩行距離 60m以下 (重複距離30m以下)
⊕ 防火設備	1~3階 EV庫 特定防火設備 (認定番号: CAS0136号)
☒ 第3種機械排気	FLW LSS (HGS) 下地盤GB-FB112.5+GB-R-H両面換気 (梁・337下まで) (認定番号: FP06ONP-0199)
±0 FLからのレベルを示す	EVリフト廻り: ALON #41100 (壁1時間耐火 告示第1399号)
	RC区画壁

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
		株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月
														図面名称	縮尺	番号
														建築断面図・防火上主要な間仕切り平面図	1/100, 1/150, 1/500	M-03

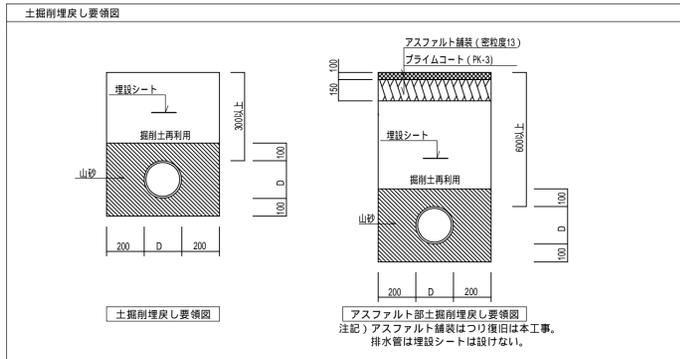
A3版の場合は50%縮尺とする

パッケージ形空調機 機器表

記号	形式	定格能力		電気容量						消費電力		台数	設置場所	備考	
		冷房 kW	暖房 kW	圧縮機 kW	送風機 kW	風量 m <sup>3</sup> /h	静圧 Pa	相	電圧 V	冷房 kW	暖房 kW				
MAC -11	空冷ヒートポンプパッケージ 室外機	10HP	28.0	31.5	5.7	0.47	-	-	3	200	8.07	8.33	1	屋外	
MAC -11 -1	天井カセット型 4方向吹出 室内機		7.1	8.0	-	0.056	-	-	1	200	0.063	0.053	4	1F 総務課	リモコン1個
MAC -12	空冷ヒートポンプパッケージ 室外機	12HP	33.5	37.5	6.9	0.56	-	-	3	200	10.2	9.95	1	屋外	
MAC -12 -1	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.034	4	1F 学生課	リモコン1個
MAC -12 -2	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.034	1	1F 保健室	リモコン1個
MAC -12 -3	天井カセット型 2方向吹出 室内機		2.2	2.5	-	0.046x1	-	-	1	200	0.031	0.028	1	1F 保健室個室	リモコン1個
MAC -12 -4	天井カセット型 2方向吹出 室内機		3.6	4.0	-	0.56	-	-	1	200	0.032	0.027	1	1F 学生相談室	リモコン1個
MAC -21	空冷ヒートポンプパッケージ 室外機	12HP	33.5	37.5	6.9	0.56	-	-	3	200	10.2	9.95	1	屋外	
MAC -21 -1	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.034	2	2F 校長室	リモコン1個
MAC -21 -2	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.034	1	2F 事務部長室	リモコン1個
MAC -21 -3	天井カセット型 4方向吹出 室内機		5.6	6.3	-	0.56	-	-	1	200	0.050	0.038	1	2F 秘書控室	リモコン1個
MAC -21 -4	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.042	1	2F 共用室	リモコン1個
MAC -21 -5	天井カセット型 4方向吹出 室内機		7.1	8.0	-	0.056	-	-	1	200	0.063	0.053	1	3F 非常勤講師室	リモコン1個
MAC -22	空冷ヒートポンプパッケージ 室外機	16HP	45.0	50.0	4.6+5.0	0.40x2	-	-	3	200	14.4	12.9	1	屋外	
MAC -22 -1	天井カセット型 4方向吹出 室内機		4.5	5.0	-	0.56	-	-	1	200	0.042	0.034	1	2F 会議準備室	リモコン1個
MAC -22 -2	天井カセット型 4方向吹出 室内機		5.6	6.3	-	0.56	-	-	1	200	0.050	0.038	2	2F 第1会議室(西)	リモコン1個
MAC -22 -3	天井カセット型 4方向吹出 室内機		5.6	6.3	-	0.56	-	-	1	200	0.050	0.038	1	2F 第1会議室(中央)	リモコン1個
MAC -22 -4	天井カセット型 4方向吹出 室内機		5.6	6.3	-	0.56	-	-	1	200	0.050	0.038	1	2F 第1会議室(東)	リモコン1個
MAC -22 -5	天井カセット型 4方向吹出 室内機		9.0	10.0	-	0.56	-	-	1	200	0.092	0.075	1	3F 講師連絡室(西)	リモコン1個
MAC -22 -6	天井カセット型 4方向吹出 室内機		7.1	8.0	-	0.056	-	-	1	200	0.063	0.053	1	3F 講師連絡室(東)	リモコン1個
RAC -1	ルームエアコン(インバーター) 室外機		3.6	4.2	1.7	0.028	-	-	1	100	1.150	1.070	15	屋上	
	壁掛形 室内機		(0.8-4.0)	(0.7-5.5)		0.029							15	3F 教員研究室	ワイヤレスリモコン 室内電源
集中管理のH2-1 防・液漏れ防止、一斉運転・停止機能、2方向運転機能、個別温度設定機能															
データ外部出力機能(CSV形式)															
特記事項 (1) 電源周波数は 60 Hz とし、電気容量は参考値とする。															
(2) 機器選定に伴う冷房能力は吸込温度、外気温、冷媒管長及び高低差により補正を行い J I S B 8 6 1 5 の条件における能力とする。															
冷房時(室内側 27 DB、19 WB、外気温 35 DB)、暖房時(室内側 20 DB、外気温 7 DB、6 WB)															
(3) 冷媒は R-410A とする。															
(4) 室内機と室外機との液り制御配線は冷媒管共巻とする。但し、室内外機への電源供給・7-2取組は電気工事とする。															
(5) M A C 用リモコンコントローラー(ワイヤード式)は本体付属品とし、室内機-リモコンコントローラー間の配管配線は本工事とする。															
(6) 室内機には、ドレンアップメカを附属する。															
(7) 天井カセット形室内機(4方向吹出)は自動昇降パネル式とする。・自動昇降パネル用リモコン1個付属。															
(8) フィルターはロングライフフィルターとする。															
(9) 2015年省エネ基準値クリア機種とする。															
(10) M A C 用室外機基礎は建築工事とする。R A C 用室外機基礎はタイガーベース相当品(本工事)とする。															
(11) M A C ・ R A C 全て、集中コントローラーに取り込みとする。															

凡例(空調)

記号	名称	備考	記号	名称	備考
D	ドレン管	屋内 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 埋設・屋外 硬質塩化ビニル管(JIS K 6742)	000	円形ダクト	スパイラルダクト
R	冷媒管	全て 冷媒用被覆断熱銅管(保温厚 液管:10t・ガス管:20t)	VC ←	給気ベントキャップ	SUS製丸型フード
	アスファルトはつり補修部を示す	アスファルト舗装はつり復旧は本工事	VC →	排気ベントキャップ	SUS製丸型フード
	床はつり補修部を示す	床はつり復旧は本工事		防火区画貫通処理を示す。	
	土間掘削埋戻し部を示す				



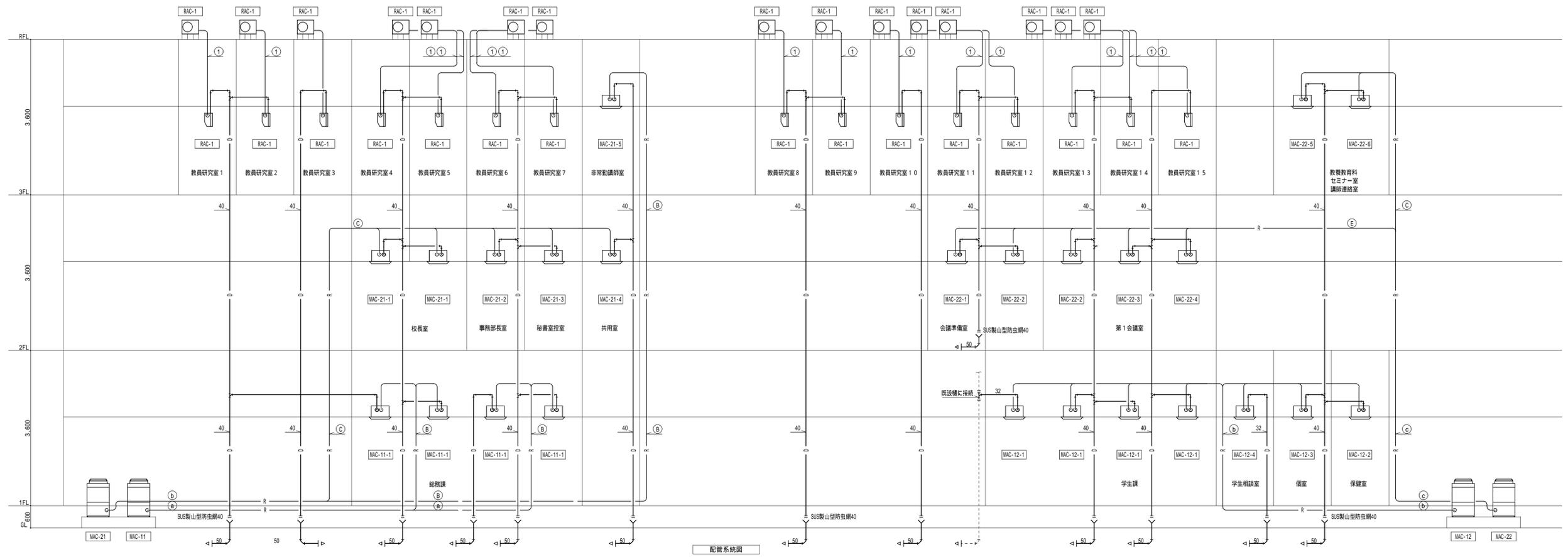
全熱交換機 機器表

記号	名称	対象室名	形式	設置方法	番手 No.	仕様		電気容量			台数	設置場所	備考	
						風量 m <sup>3</sup> /h	静圧 Pa	相	電圧 V	動力 W				
HEX - 2	全熱交換機	個室、教員研究室	壁掛形2パイプタイプ (アルミパネル据付)	壁掛	75	20	-	1	100	19	15	計	SW:(本工事)	
												(1) 1F 個室(保健室)		
												(14) 3F 教員研究室1・2・4-15		
HEX - 4	全熱交換機	事務部長室、秘書控室	壁掛形2パイプタイプ (アルミパネル据付)	壁掛	75	40	-	1	100	19	3	計	SW:(本工事)	
												(2) 2F 事務部長室、秘書控室		
												(1) 3F 教員研究室3		
HEX - 6	全熱交換機	保健室、学生相談室	壁掛形2パイプタイプ (アルミパネル据付)	壁掛	75	60	-	1	100	38	2	1F 保健室、学生相談室	SW:(本工事)	
HEX - 7	全熱交換機	校長室	壁掛形2パイプタイプ (アルミパネル据付)	壁掛	75	70	-	1	100	38	1	2F 校長室	SW:(本工事)	
HEX - 10	全熱交換機	会議準備室	壁掛形2パイプタイプ (アルミパネル据付)	壁掛	75	100	-	1	100	38	1	2F 会議準備室	SW:(本工事)	
HEX - 12	全熱交換機	共用室	天井カセット形	天吊	100	120	50	1	100	80	1	2F 共用室	SW:(本工事)	
HEX - 13	全熱交換機	学生課	天井カセット形	天吊	100	130	50	1	100	80	2	1F 学生課	SW:(本工事)	
HEX - 16	全熱交換機	非常勤講師室	天井カセット形	天吊	100	160	50	1	100	80	2	3F 非常勤講師室	SW:(本工事)	
												講師連絡室(東)		
HEX - 20	全熱交換機	第1会議室	天井カセット形	天吊	150	200	50	1	100	144	5	計	SW:(本工事)	
												(4) 2F 第1会議室		
												(1) 3F 講師連絡室(西)		
HEX - 23	全熱交換機	総務課	天井カセット形	天吊	150	230	50	1	100	144	2	1F 総務課	SW:(本工事)	
特記事項 (1) 天井カセット形はコントロールスイッチ(普通換気回路付)・壁掛形はコントロールスイッチ(普通換気回路無し)付属とする。														
(2) 防振用吊金具付 (5) HEX-2-10のうち2F:校長室・秘書控室・3F:教員研究室2台分はFD付SUS製丸型フード付とし、その他はSUS製丸型フード付とする。														
(3) 機器-SW間の配管配線は本工事 (6) HEX-12-23はSUS製丸型フード付とする。														
(4) 居室設置機器はシックハウス対策24時間換気対応機器とする。														

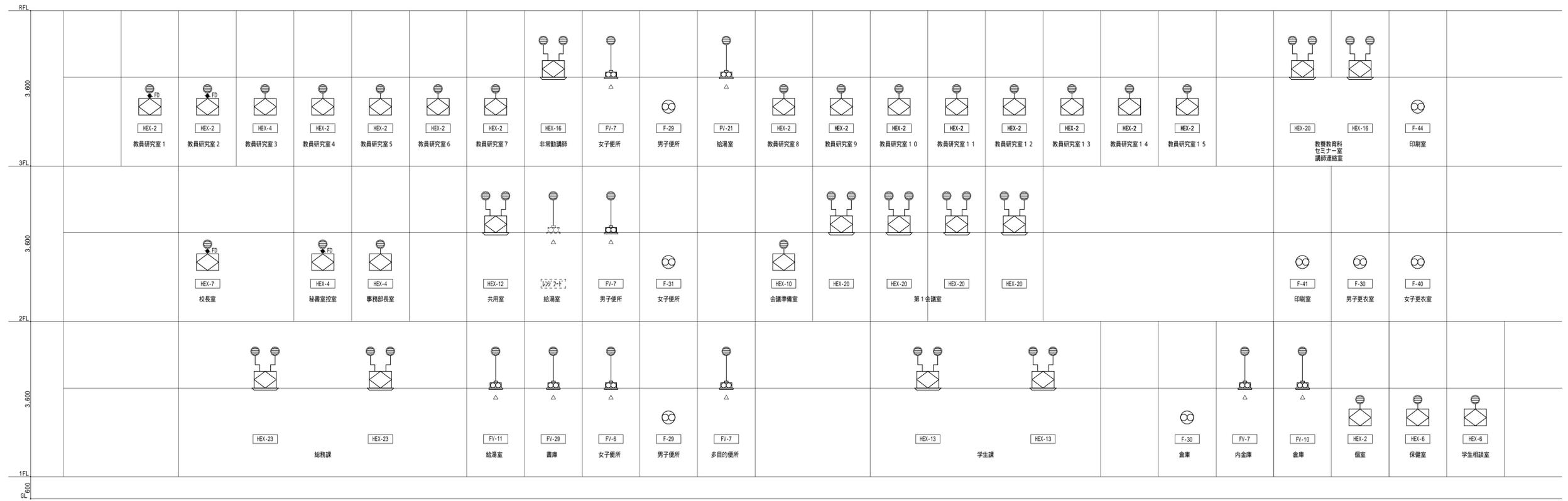
送・排風機 機器表

記号	名称	形式	設置方法	番手 No.	風量 m <sup>3</sup> /h	静圧 Pa	電気容量		台数	設置場所	備考	
							V	kW				
F - 29	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	290	-	1	100	0.029	2	計	SW:(本工事)
											(1) 1F 男子便所	
											(1) 3F 男子便所	
F - 30	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	300	-	1	100	0.029	2	計	SW:(本工事)
											(1) 1F 倉庫	
											(1) 2F 男子更衣室	
F - 31	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	310	-	1	100	0.029	1	2F 女子便所	SW:(本工事)
F - 40	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	400	-	1	100	0.029	1	2F 女子更衣室	SW:(本工事)
F - 41	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	410	-	1	100	0.029	1	2F 印刷室	SW:(本工事)
F - 44	排風機	窓枠取付換気扇	壁掛	200	440	-	1	100	0.029	1	3F 印刷室	SW:(本工事)
FV - 6	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	100	60	50	1	100	0.016	1	1F 女子便所	SW:(本工事)
FV - 7	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	100	70	50	1	100	0.016	4	計	SW:(本工事)
											(2) 1F 内金庫、多目的便所	
											(1) 2F 男子便所	
											(1) 3F 女子便所	
FV - 10	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	100	100	50	1	100	0.016	1	1F 倉庫	SW:(本工事)
FV - 11	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	100	110	50	1	100	0.016	1	1F 給湯室(総務課)	SW:(本工事)
FV - 21	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	150	210	50	1	100	0.049	1	3F 給湯室	SW:(本工事)
FV - 29	排風機	天井埋込換気扇 低騒音型	天吊	150	290	50	1	100	0.049	1	1F 倉庫	SW:(本工事)
特記事項 (1) 窓枠取付換気扇は電気式シャッター、SUS製ウェザーカーカバー付とする。												
(2) 1 100Vの送排風機すべてON-OFFスイッチ付とする。												
(3) 1 100V送排風機-SW間の配管配線は本工事												
(4) 天井埋込換気扇はSUS製丸型フード・天吊金具付とする。												

記 事	設計業務名	設計業務名	仙台高等専門学校	鈴鹿工業高等専門学校	工事名称	日付	総数						
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月
	株式会社 ミューパートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮	検図	担当	図面名称	縮尺	番号						
					空調・換気設備 改修後 機器一覧表・凡例	1/	M-04						



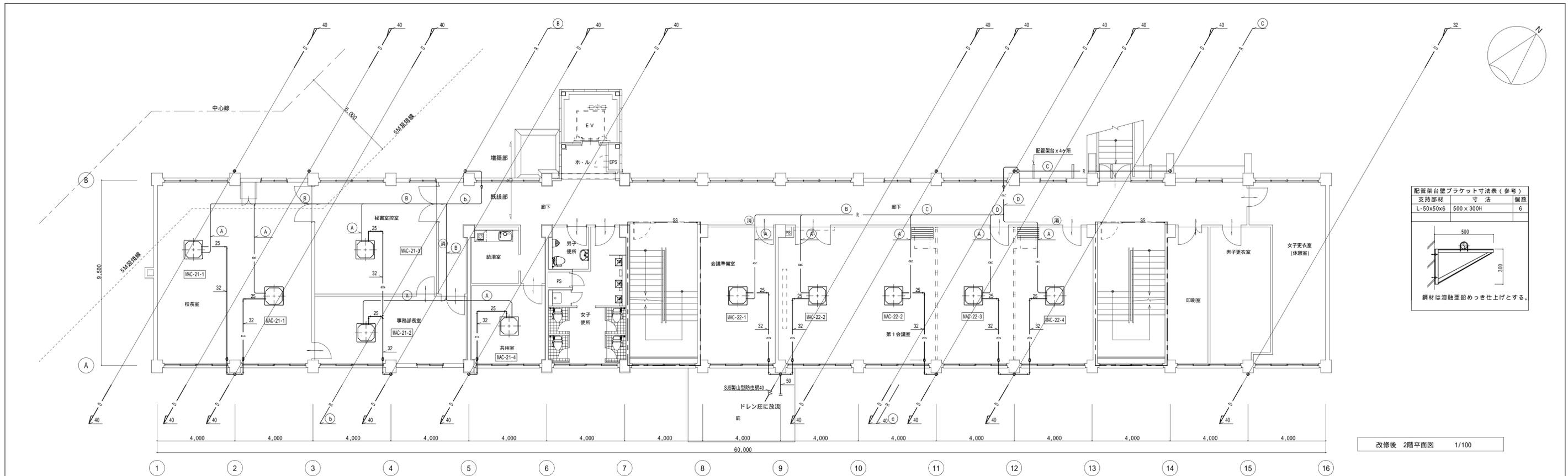
配管系統図



ダクト系統図

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数	
		株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	08 / 34
		株 図 担													図面名称	縮尺	番号
	空気・換気設備 改修後 系統図														1/	M-05	

A3版の場合は50%縮尺とする

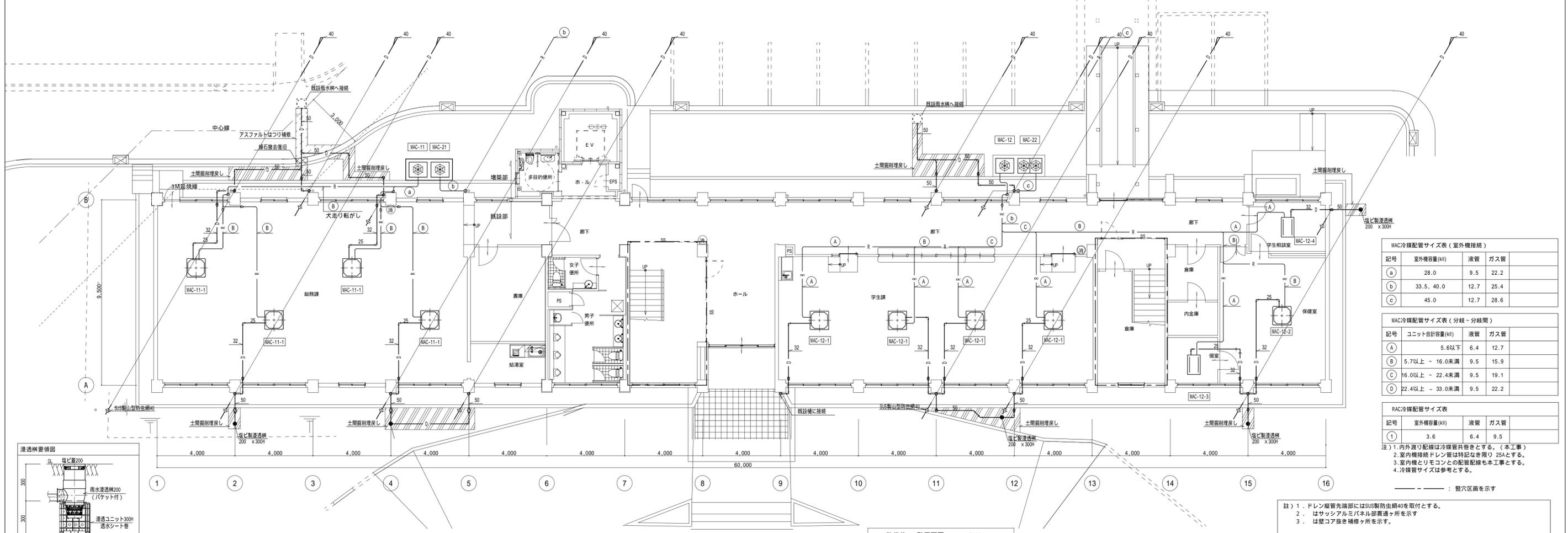


配管架台壁ブレイク寸法表 (参考)

支持部材	寸法	個数
L-50x50x6	500 x 300H	6

鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとする。

改修後 2階平面図 1/100



MAC冷媒配管サイズ表 (室外機接続)

記号	室外機容量(kW)	液管	ガス管
a	28.0	9.5	22.2
b	33.5, 40.0	12.7	25.4
c	45.0	12.7	28.6

MAC冷媒配管サイズ表 (分岐-分岐間)

記号	ユニット合計容量(kW)	液管	ガス管
A	5.6以下	6.4	12.7
B	5.7以上 ~ 16.0未満	9.5	15.9
C	16.0以上 ~ 22.4未満	9.5	19.1
D	22.4以上 ~ 33.0未満	9.5	22.2

RAC冷媒配管サイズ表

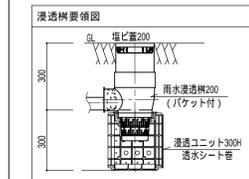
記号	室外機容量(kW)	液管	ガス管
①	3.6	6.4	9.5

注) 1. 内流り配管は冷媒管共巻きとする。(本工事)  
 2. はサッシアルミパネル部貫通ヶ所を示す  
 3. は壁コア抜き補修ヶ所を示す。  
 4. 冷媒管サイズは参考とする。

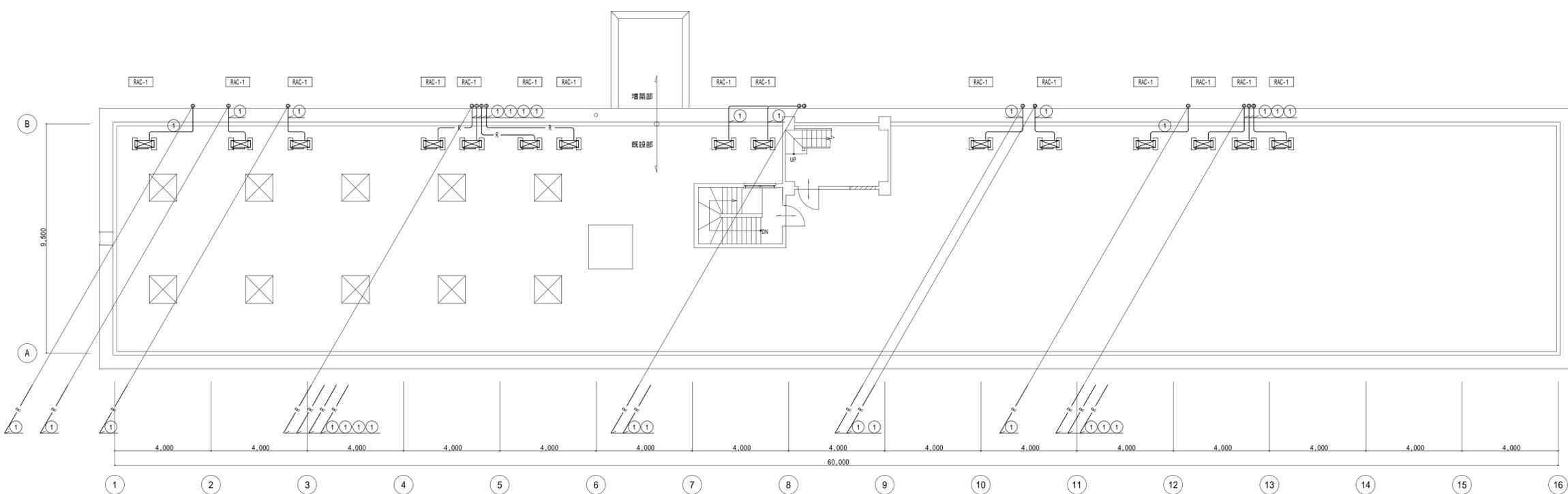
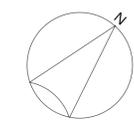
①: 壁穴区画を示す

註) 1. ドレン縦管先端部にはSUS製防虫網40を取付とする。  
 2. はサッシアルミパネル部貫通ヶ所を示す  
 3. は壁コア抜き補修ヶ所を示す。

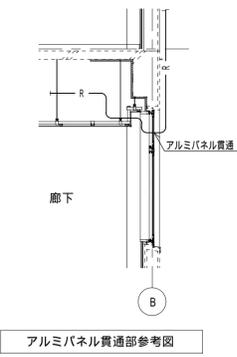
改修後 1階平面図 1/100



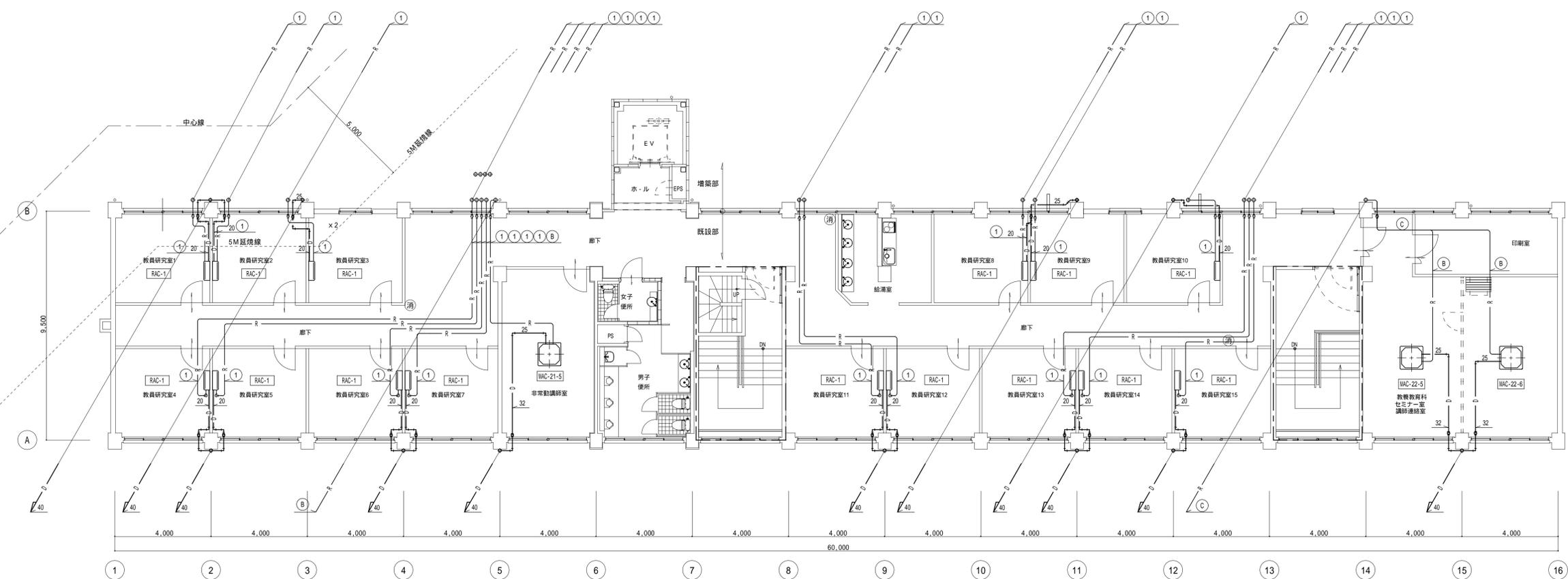
設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務									
	株式会社 ミューパートナーズ					管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				
図面名称	空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図 (配管)									
	縮尺 1/100									
工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事									
	日付 平成26年7月 総数 09/34									
図面番	番号 M-06									
	A3版の場合は50%縮尺とする									



改修後 R階平面図 1/100



アルミパネル貫通部参考図



改修後 3階平面図 1/100

記号	室外機容量(kW)	液管	ガス管
(a)	28.0	9.5	22.2
(b)	33.5, 40.0	12.7	25.4
(c)	45.0	12.7	28.6

記号	ユニット合計容量(kW)	液管	ガス管
(A)	5.6以下	6.4	12.7
(B)	5.7以上 - 16.0未満	9.5	15.9
(C)	16.0以上 - 22.4未満	9.5	19.1
(D)	22.4以上 - 33.0未満	9.5	22.2

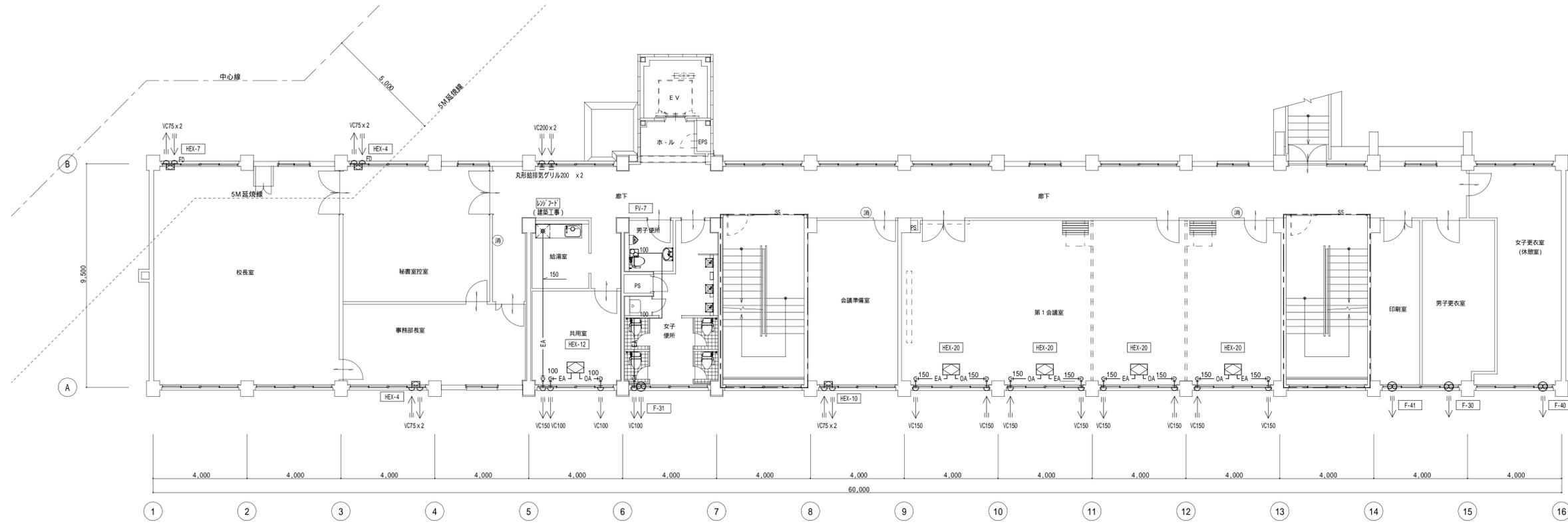
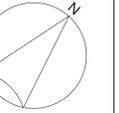
記号	室外機容量(kW)	液管	ガス管
(1)	3.6	6.4	9.5

- 注) 1. 内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。(本工事)  
 2. 室外機接続ドレン管は特記なき限り 25Aとする。  
 3. 室内機とリモコンとの配管配線も本工事とする。  
 4. 冷媒管サイズは参考とする。

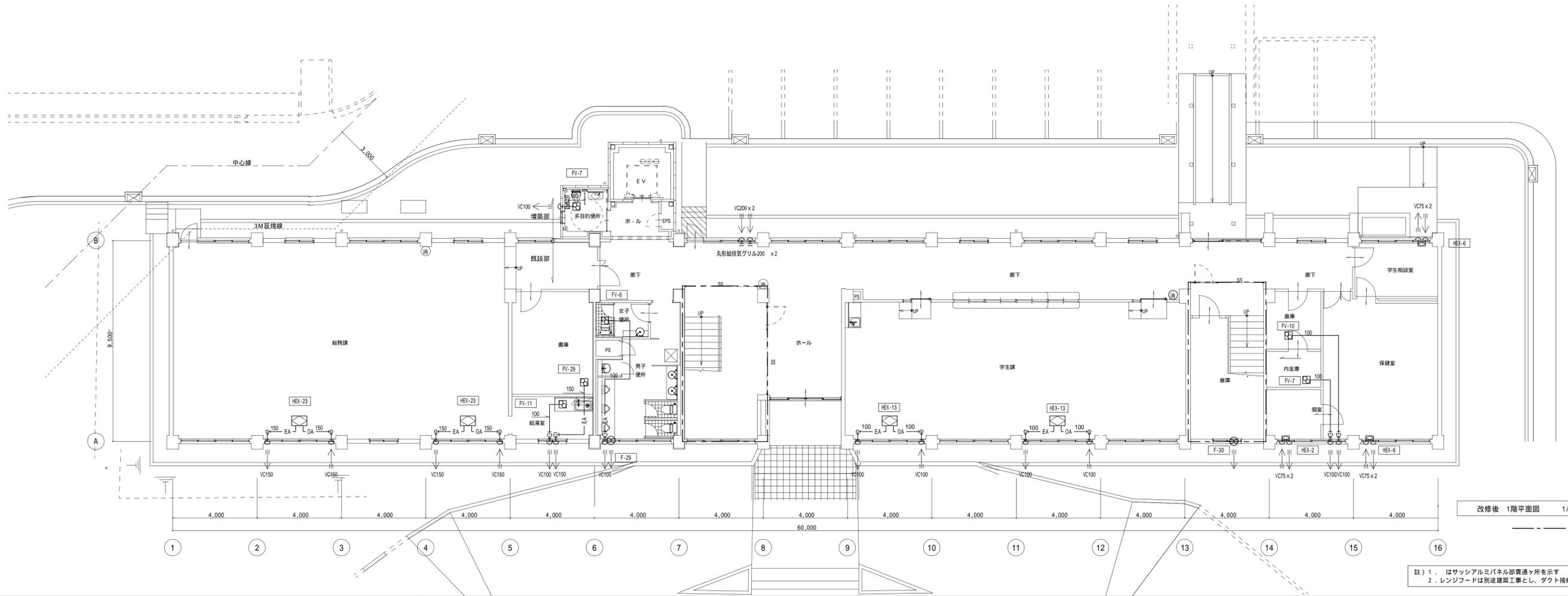
--- : 壁穴区画を示す

- 注) 1. 室外機基礎はタイガーベース相当品+ゴムマット10t敷きとする。  
 2. 室外機には転倒防止措置を施すこと。  
 3. はサッシアルミパネル部貫通ヶ所を示す。(アルミパネル部については、施工時に監督員に確認すること)  
 4. は壁コア抜き補修ヶ所を示す。

設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月
図面名称	空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図(配管)				縮尺				1/100				番号	M-07	
	A3版の場合は50%縮尺とする														



改修後 2階平面図 1/100

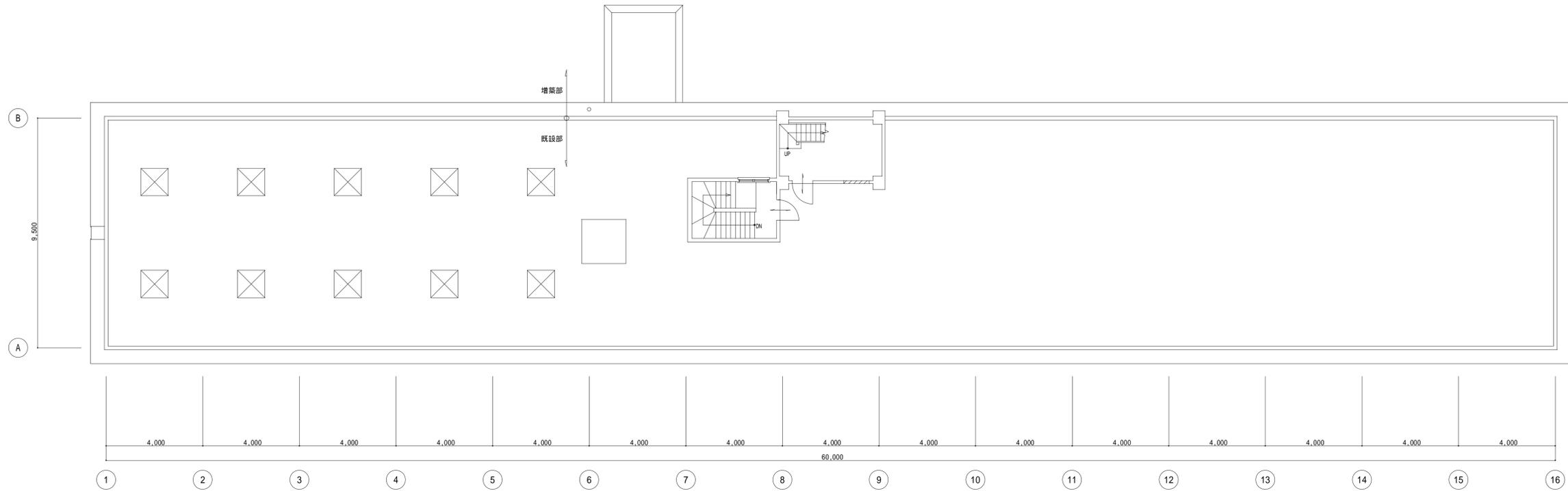
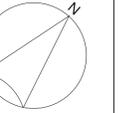


改修後 1階平面図 1/100

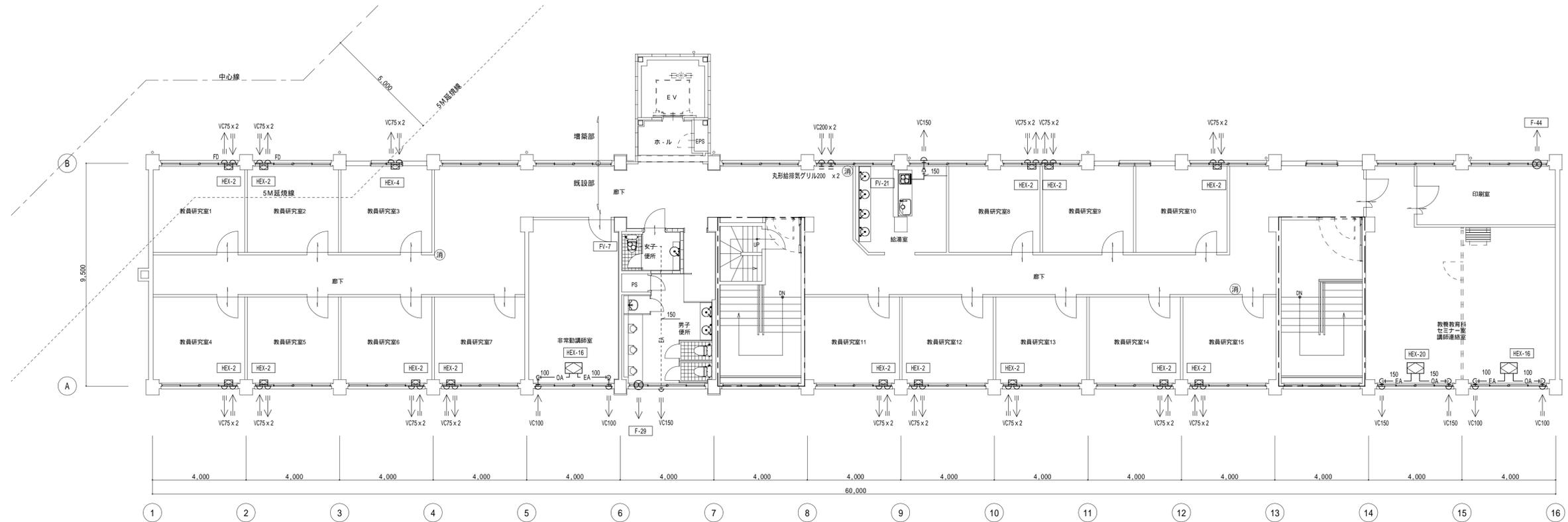
註) 1. はサッシアルミパネル貫通ヶ所を示す  
2. レンジフードは別途建築工事とし、ダクト接続まで本工事とする。

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数				
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事				平成26年7月	11/34					
		株式会社 ミューパートナーズ	管理建築士 一級建築士登録 第242551号 植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	縮尺
														空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図(ダクト)	1/100	M-08

A3版の場合は50%縮尺とする



改修後 R階平面図 1/100



改修後 3階平面図 1/100

註) 1. はサッシアルミパネル部貫通ヶ所を示す

--- : 整穴区画を示す  
 ——— : 大體は新設を示す  
 - - - - : 既設を示す

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数	
	株式会社	ムーバートナース				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	12 / 34
	管理建築士	一級建築士登録 第242551号 植田 亮				棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
														空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図(ダクト)	1/100	M-09	

凡例

A	CVV-S1.25 - 2C	マルチエアコンタイマー遅り
	CVV-S1.25 - 2C	マルチ集中コントローラ遅り
B	CVV-S1.25 - 3C	マルチ集中コントローラ遅り
	CVV-S1.25 - 3C	マルチ蓄熱コントローラ遅り
C	EM-CEE1.25 - 2C	
D	EM-CEE-S2.0 - 2C	
E	EM-CEE-S2.0 - 3C	
F	EM-CEE1.25 - 3C	

- 註) 1. 図中 は線費通を示す。  
 2. 屋外設置プルボックスは SUS製とする。  
 (PB 150×150×150)  
 3. 屋内立下りは基本は型仕込配管(PF管)とするが、仕込まない場合は、第一種金属線び施工とする。  
 4. 総務課事務室内露出配線は電気工事にて設置するラック  
 ころしが記線とする。

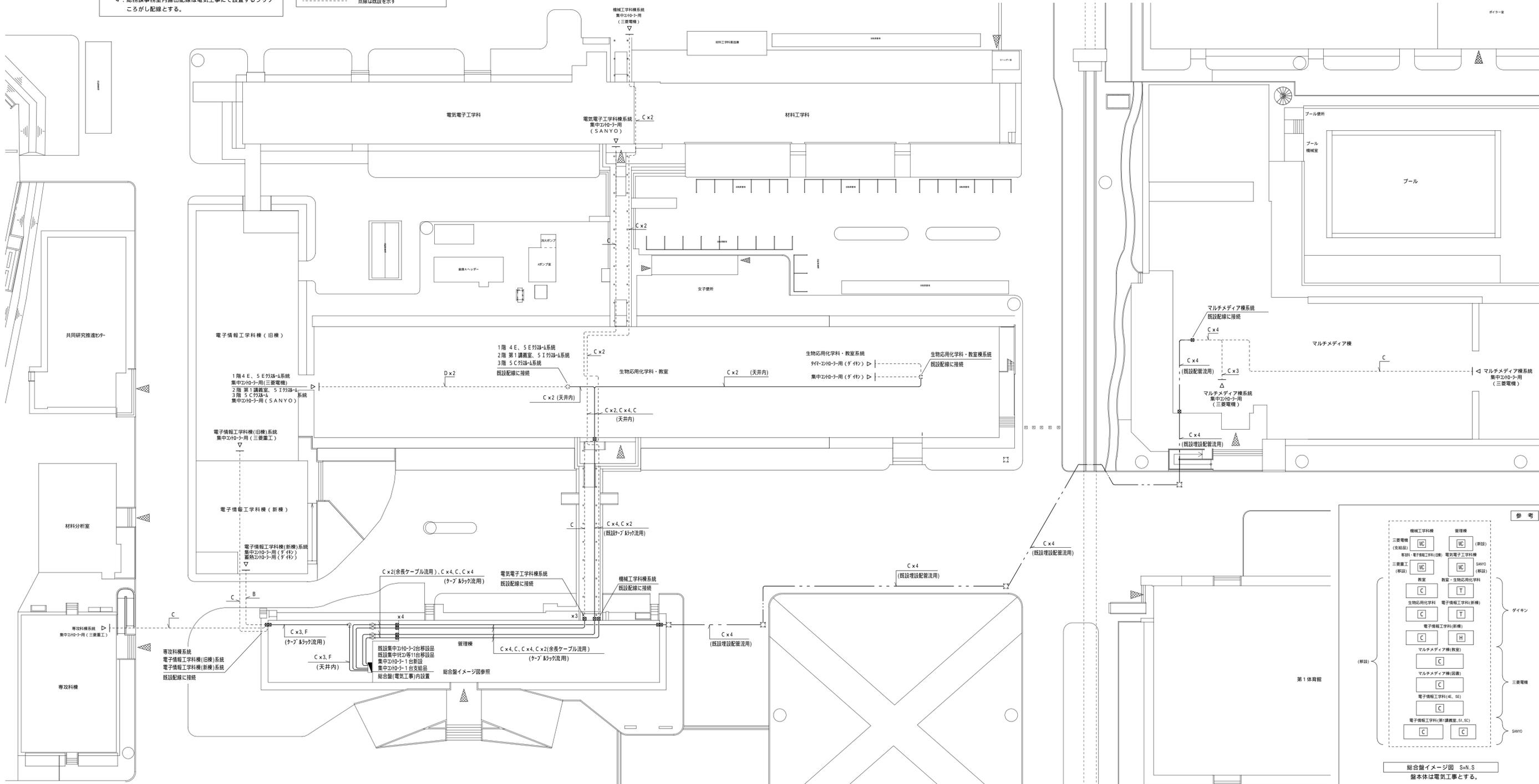
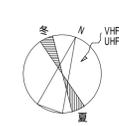
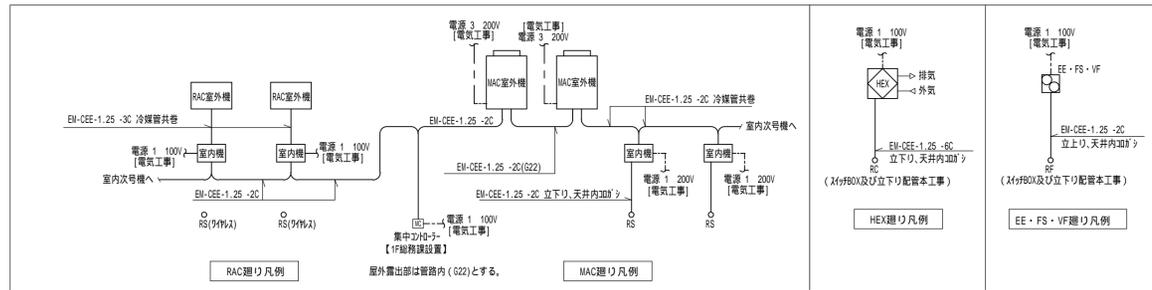
機器凡例

☒	プルボックス
⊗	アウトレットボックス
⊙	集中コントローラ (液晶パネル式)
⊠	集中リモコン
⊡	タイマーコントローラ
⊢	蓄熱コントローラ

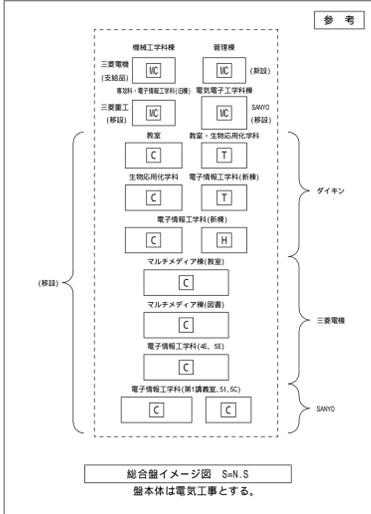
線凡例

—	ケーブルころしが記線
—	露出部配管配線
—	天井廻り部配管配線
—	埋設部配管配線
—	架空配管

—	太線は新設を示す
---	二点線は既設配管流用を示す(配線新設)
---	点線は既設を示す

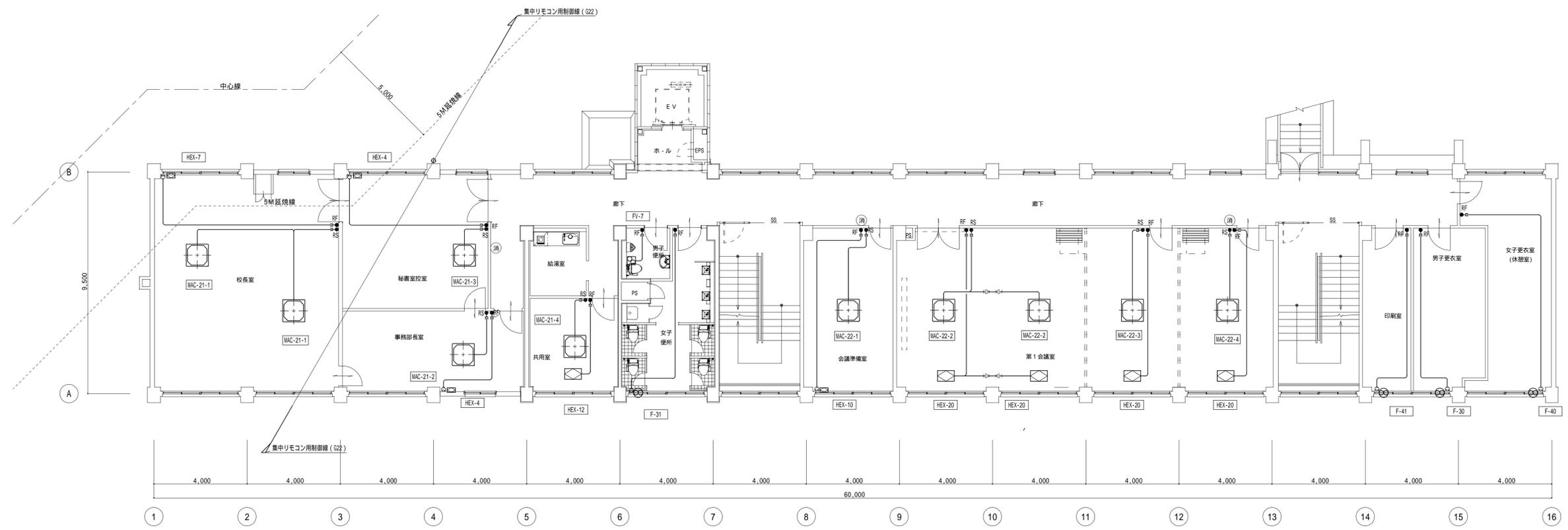
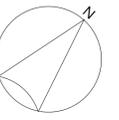


外構配置図 1 / 300

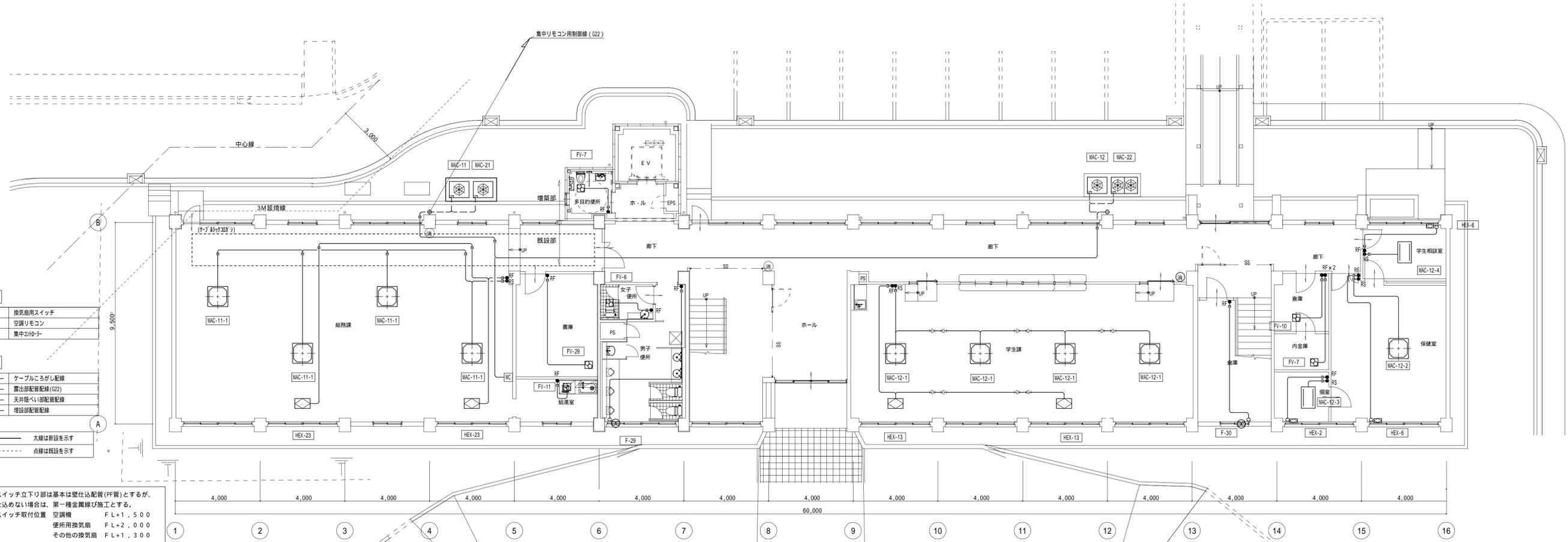


記	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	13 / 34	
	事務	株式会社 ミューパートナーズ	管理建築士 一般建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	空調・換気設備 改修後 外構配置図(計装)	縮尺	1/300	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



改修後 2階平面図 1/100



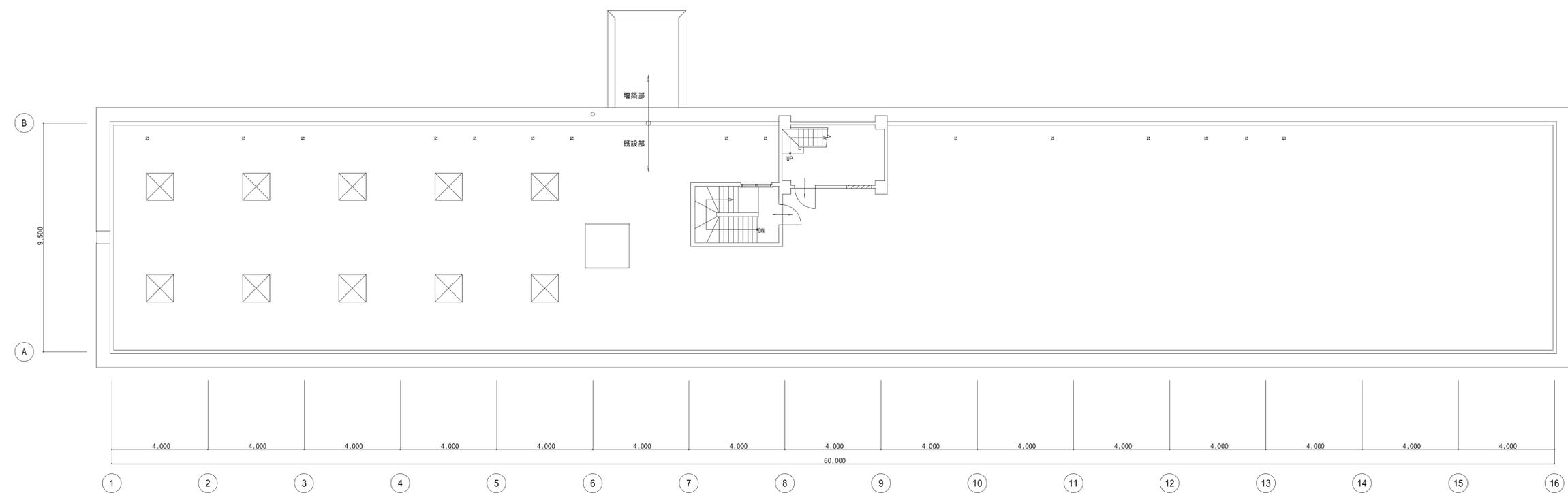
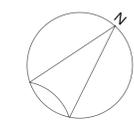
改修後 1階平面図 1/100

- 凡例**
- RF 換気扇用スイッチ
  - RS 空調リモコン
  - WC 集中2台用
- 線凡例**
- ケーブル沿り配線
  - - - 露出部配線 (G2)
  - 天井内配線
  - 増設部配線
- 太線は新設を示す  
 - - - 点線は既設を示す

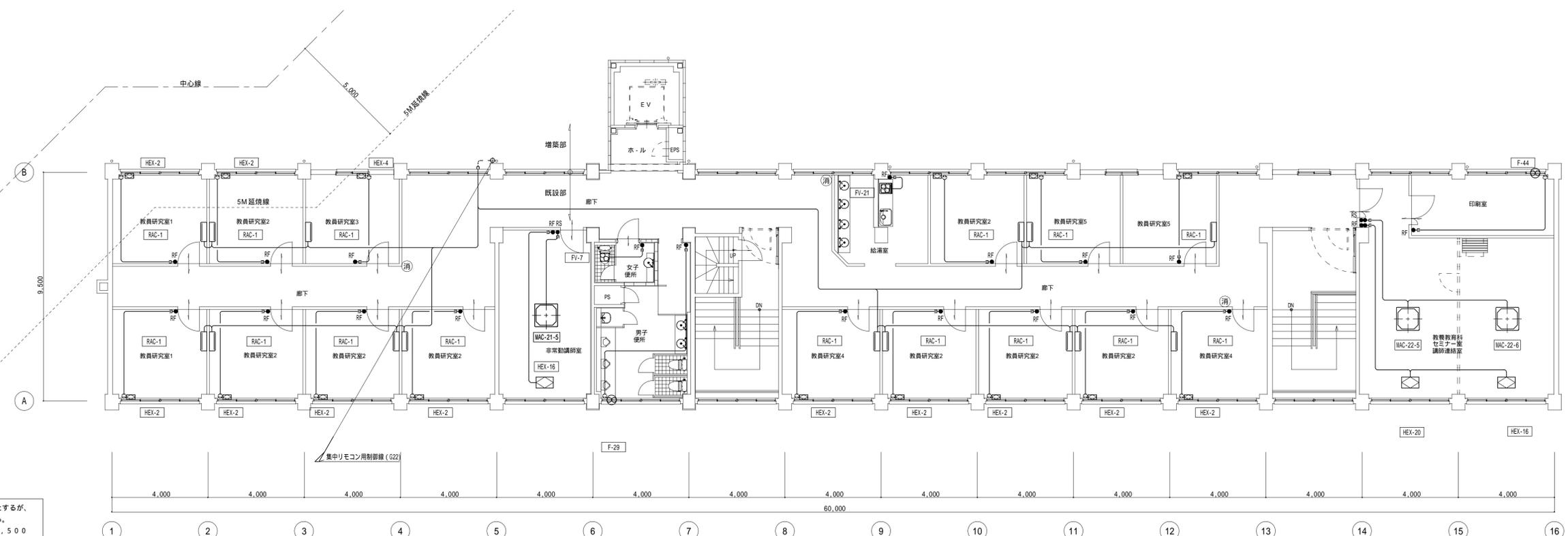
- 注)**
1. スイッチ立り下り部は基本は壁仕込配管 (PF管) とするが、仕込めない場合は、第一種金属導管とす。
  2. スイッチ取付位置 空調機 FL+1, 500  
 便所用換気扇 FL+2, 000  
 その他の換気扇 FL+1, 300
  3. スイッチ取付位置は照明スイッチと調整の上施工すること。
  4. 空調機内外渡り配線は冷媒管共巻きとする。
  5. コンセント設置は電気工事とする。

設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長			
縮尺	1/100												図面名称	番号	
	空調・換気設備 改修後 1階・2階平面図 (計装)														M-11

A3版の場合は50%縮尺とする



改修後 R階平面図 1/100



改修後 3階平面図 1/100

- 凡例**
- RF 換気用スイッチ
  - RS 空調リモコン
- 線凡例**
- ケーブルこしがし配線
  - 露出部配管配線 (G22)
  - 天井内配管配線
  - 埋設部配管配線
- 太線は新設を示す  
 - - - 点線は既設を示す

- 注**
1. スイッチ立下り部は基本は壁仕込配管 (PF管) とするが、仕込めない場合は、第一種金属線び施工とする。
  2. スイッチ取付位置 空調機 F L + 1, 5 0 0  
 便所用換気扇 F L + 2, 0 0 0  
 その他の換気扇 F L + 1, 3 0 0
  3. スイッチ取付位置は照明スイッチと調整の上施工すること。
  4. 空調機内外張り配線は冷媒管共巻きとする。
  5. コンセント設置は電気工事とする。

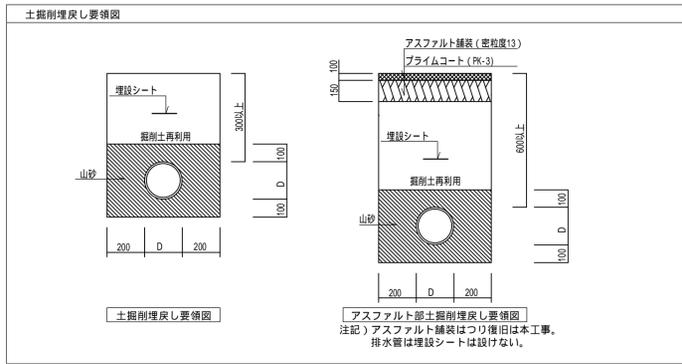
記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	15 / 34			
	実施者	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図 (計装)	縮尺	1/100	番号	M-12
	図面名称	空調・換気設備 改修後 3階・R階平面図 (計装)																				

衛生 機器表

記号	名称	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			V	KW				
WHE-1	電気温水器	型式: 洗い物用 床置型 貯湯量: 2.5 L 付属品 密閉式排水ホッパー・脚・止水栓付	1	100	1.1	1	1F 保健室	
WHE-2	電気温水器	型式: 洗い物用 床置型 貯湯量: 1.5 L 付属品 密閉式排水ホッパー・脚・止水栓付	1	100	1.1	4	計 1F 給湯室(総務課) 学生課 (2) 2F 給湯室 (1) 3F 給湯室 (1)	

衛生 器具表

品名	品番 (TOTO参考)	付属品・他	合計 個数	1階						2階			3階			屋外		備考	
				給湯室 (給湯機)	多目的 便所	男子 便所	女子 便所	学生 課	保健 室	校医 室	給湯 室	男子 便所	女子 便所	給湯 室			足洗 機		
洋風大便器(FV)	CFS469HNS	温水洗浄便座 TCF584R・分岐金具 TH343R・排水フランジ HP430-7・紙巻器 YH702・その他付属品一式共	8		2	1							1	4				AC100V	
多目的大便器	C480AN	自動バルブユニット TEF75LN・タッチスイッチユニット TES27E・洗浄管 TS40L・接続管 TH500-32・接続管 T1122 スパッド T82CR32・温水洗浄便座 TCF4721V81PA・埋込BOX TCA88・フランジ HP430-7・紙巻器 YH702・その他付属品一式共	1	1														AC100V	
手洗器	LSE570APF	自動単水栓・Pトラップ排水金具、その他付属品一式共	1	1														AC100V	
壁掛小便器	UFS800CE	低リップ式	4		3								1					AC100V	
洗面器	LSE130AP1	ハイバックタイプ・自動単水栓・壁給水・壁排水金具、その他付属品一式共	3										3					AC100V	
洗面器	L250C	自動単水栓(TEN47A)・床給水・床排水金具、その他付属品一式共	1										1					AC100V	
洗面器	L270C	グースネック自動単水栓(TEN77G1)・壁給水・壁排水金具・化粧鏡(YH4510FAC)・その他付属品一式共	1	1														AC100V	
洗面器	L525RCU	自動単水栓(TEN41A)・床給水・床排水金具、その他付属品一式共	6		2							4						AC100V	
ボール体型洗面器	MC30	(建築工事: 1200L・ブラケット・コーナカバー)・設備工事: 自動単水栓(TEN12C)・床給水・床排水金具、その他付属品一式共	1			1												AC100V	カウンター本体は建築工事
洗面化粧台	LDA606AYQ	自動単水栓(TEN41A)・排水金具・化粧鏡(450x600)・その他付属品一式共	1							1								AC100V	
掃除用流し	SK22A	給水栓 T23AE20・床排水金具 T37SGEP・リムカバー TK22・バックハンガー T9RJ・その他付属品一式共	2		1									1					
化粧棚	YKH50AA	建築工事	(6)											(6)					
洗濯機パン	PWP640NRW	トラップ PJ2009SH	1																
洗濯機用水栓	TW11R	緊急止水弁付	1																
ホーム水栓	T200SNR13		4																4
混合水栓	TKGG31E	止水栓 x 2	6	1						1			1						
ステンレス流し		¥1500・D600・H800・2槽式・扉付・バックガード付	1																
マープライトカウンター		建築工事	(2)		(1)									(1)					



凡例 (衛生)

記号	名称	備考
— — — — —	給水管	屋内 一般配管用ステンレス鋼管(SUS・JIS G 3448) 屋内地中 ポリ粉体ライニング鋼管(JWWA K 132)PD 屋外埋設 ポリエチレン管(JWW 144)
— — — — —	排水管	屋内 耐火二層管 屋内地中・ピット内 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6742) 屋外埋設 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管
— — — — —	通気管	屋内 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6742)
— X — — — —	屋内消火管	地中を除く全て 配管用炭素鋼管・白(JIS G 3452)
—   —   —   —	弁類	
⊗	水栓類	
⊕	床上掃除口	
— < —	通気金具	埋込型: 耐食アルミニウム製
●	汚水栓	小口径塩ビ栓
— — — — —	既設管切断接続ヶ所を示す。	
(H)	消火器	ABC10型(別途工事)
//////	埋設配管を示す	
	防火区画貫通処理を示す。	
▨	アスファルトはつり補修部を示す	アスファルト舗装はつり復旧は本工事
▩	コンクリートはつり補修部を示す	コンクリートはつり復旧は本工事
▧	縁石撤去復旧を示す	縁石撤去復旧は本工事
▨	土間掘削埋戻し部を示す	

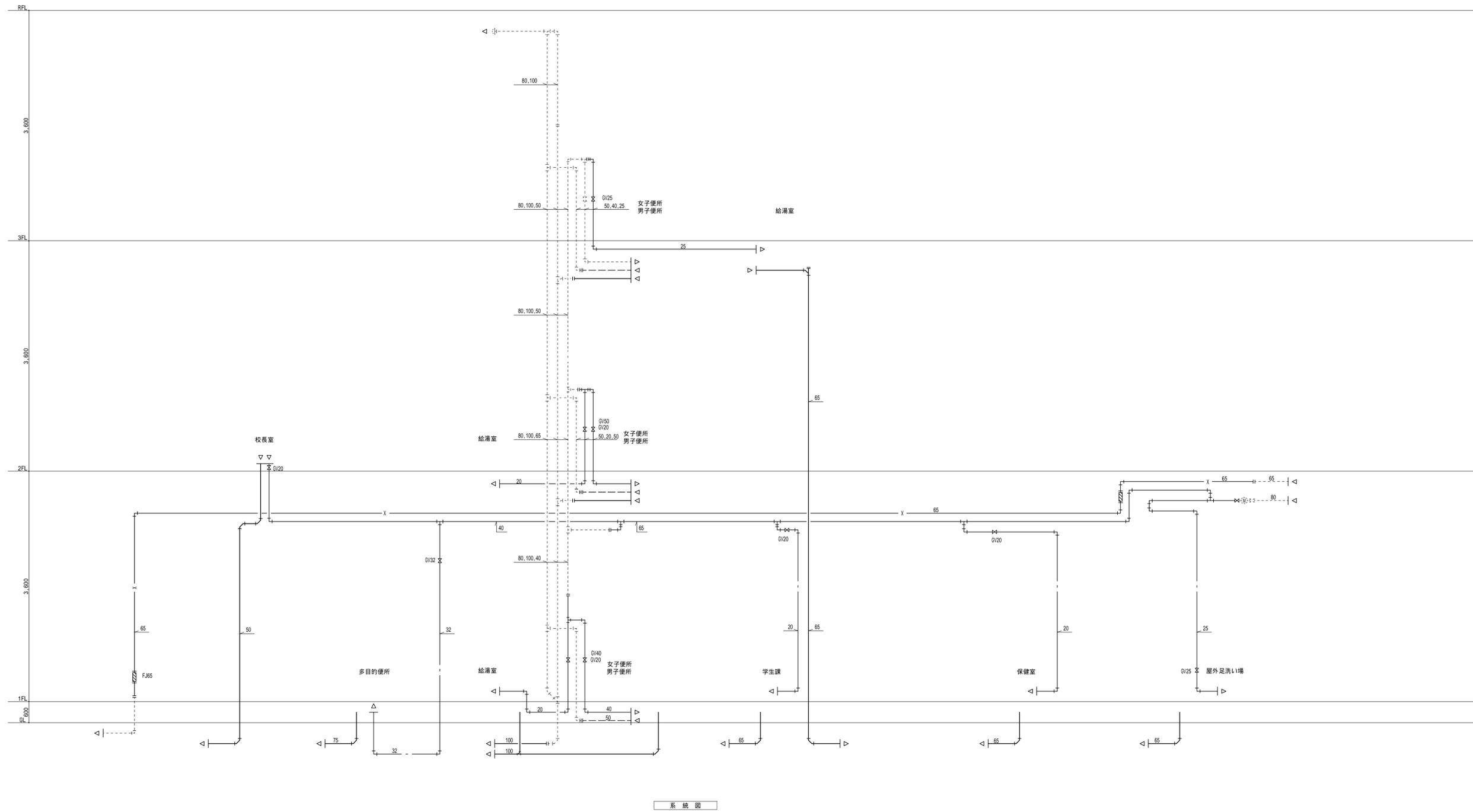
注記 1.( )内サイズは天井配置を示す。

汚水樹リスト

番号	樹種	樹口径	管口径	参考深さ(H)	勾配(%)	蓋	備考
①	小口径塩ビ樹	200	100	450	6.7	塩ビ蓋	90L
②	既設汚水樹	600x600	-	600	-	MHA	-
③	小口径塩ビ樹	200	100	450	6.7	塩ビ蓋	90V
④	小口径塩ビ樹	200	100	480	6.7	塩ビ蓋	90L
⑤	既設汚水樹	600x600	-	700	-	MHA	-
⑥	小口径塩ビ樹	200	100	450	6.7	塩ビ蓋	90L
⑦	小口径塩ビ樹	200	100	470	6.7	塩ビ蓋	90V
⑧	既設汚水樹	600x600	-	910	-	MHA	-
⑨	小口径塩ビ樹	200	100	550	6.7	塩ビ蓋	90L
⑩	小口径塩ビ樹	200	100	570	6.7	塩ビ蓋	90V
⑪	小口径塩ビ樹	200	125	590	6.7	塩ビ蓋	90V
⑫	既設汚水樹	600x600	-	1100	-	MHA	-
⑬	小口径塩ビ樹	200	100	550	6.7	塩ビ蓋	90V
⑭	小口径塩ビ樹	200	125	570	6.7	塩ビ蓋	90L
⑮	小口径塩ビ樹	200	100	400	6.7	塩ビ蓋	90L
⑯	既設汚水樹	450x450	-	500	-	MHA	-

樹深さ(H)は設計GLからとし、参考値とする。

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務	山台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	16 / 34
	縮尺	1/100	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	給排水衛生設備 改修後 機器表・衛生器具表・凡例	縮尺	1/100	番号

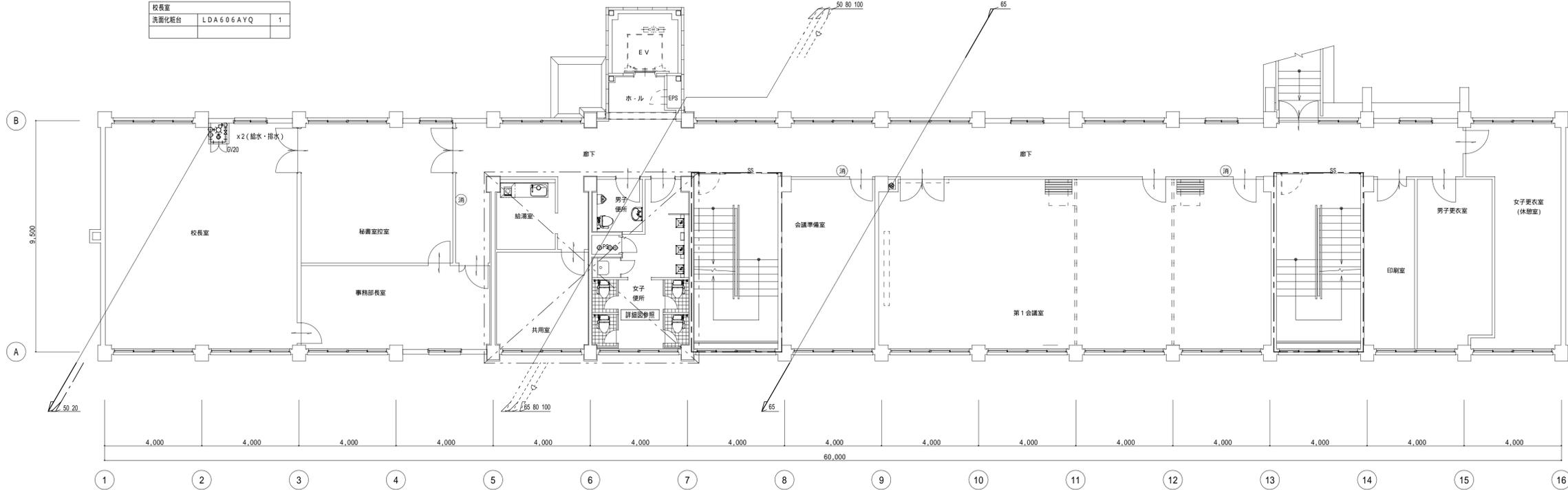
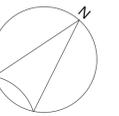


——— 太線は新設を示す  
 - - - - - 細線は既設を示す

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
		株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月
														図面名称	縮尺	番号
														給排水衛生設備 改修後 系統図	1/	M-14

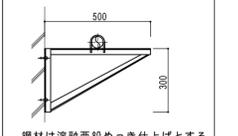
A3版の場合は50%縮尺とする

校長室	洗面化粧台	LDA606AYQ	1
-----	-------	-----------	---

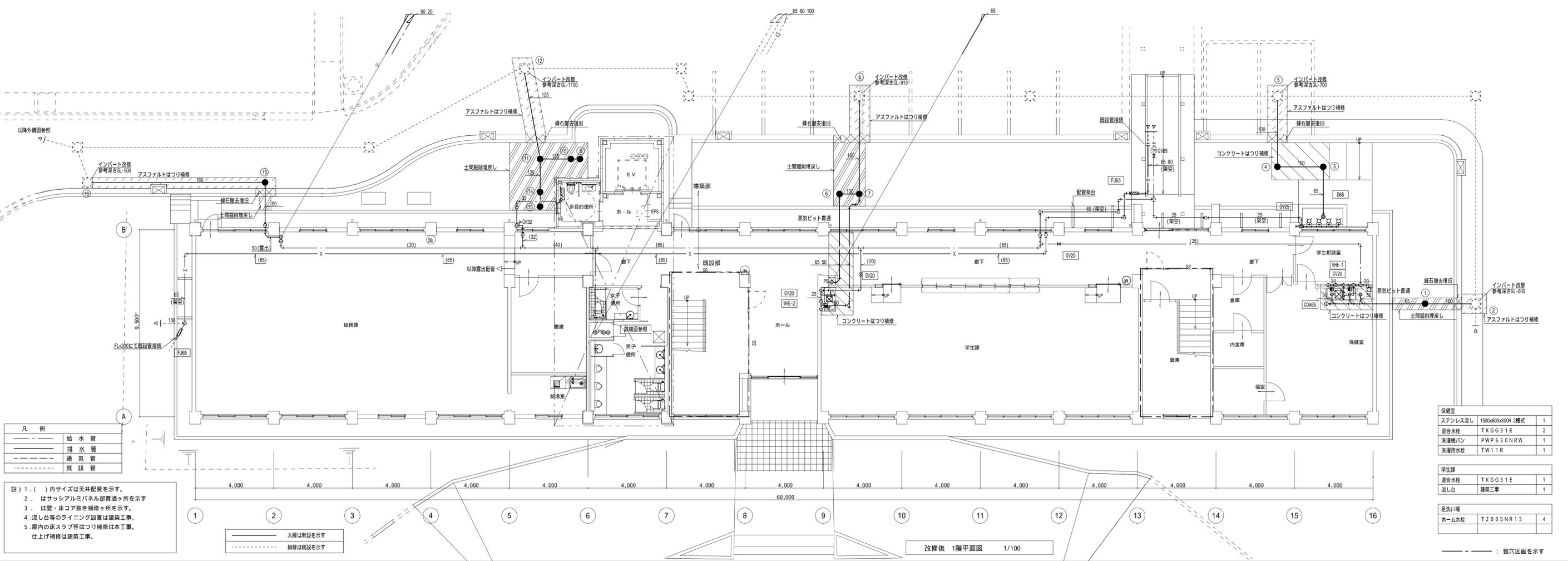
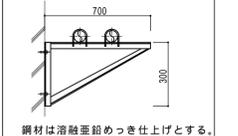


改修後 2階平面図 1/100

配管架台壁ブラケット寸法表 (参考)		
支持部材	寸法	個数
L-50x50x6	500x300H	6



配管架台壁ブラケット寸法表 (参考)		
支持部材	寸法	個数
L-50x50x6	700x300H	2



改修後 1階平面図 1/100

凡例	
—	給水管
- - -	排水管
—	通気管
- - -	既設管

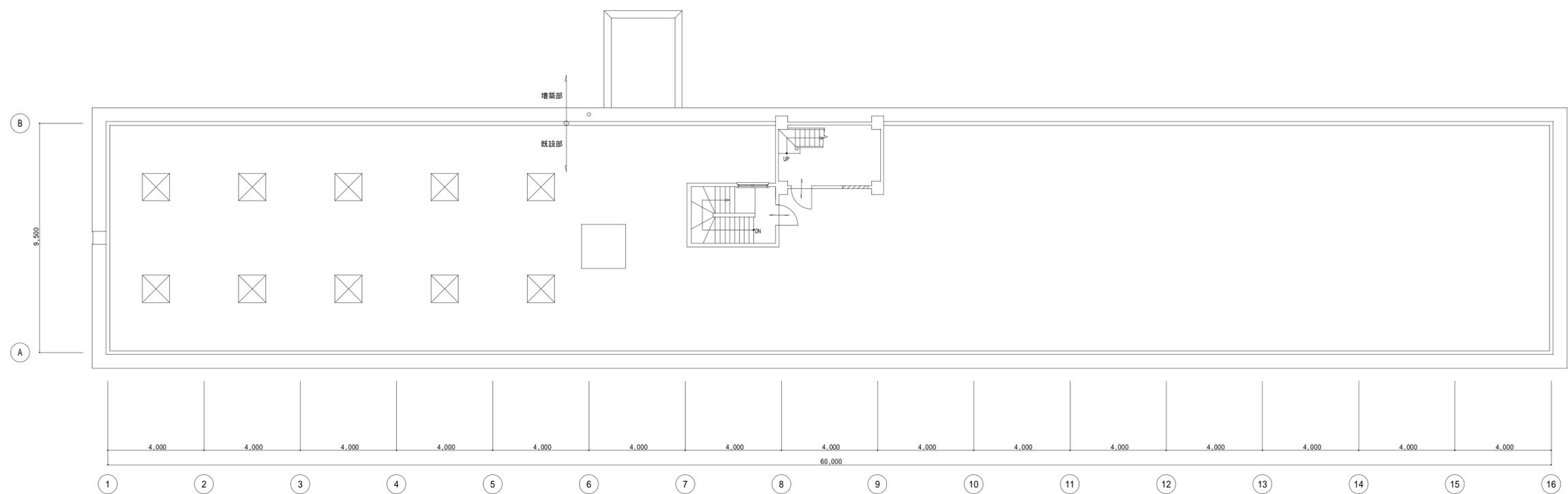
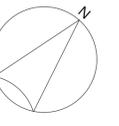
- 註) 1. ( )内サイズは天井配置を示す。  
 2. はサッシアルミバルブ部貫通ヶ所を示す  
 3. は壁・床コア抜き補修ヶ所を示す。  
 4. 流し台等のライニング設置は建築工事。  
 5. 屋内の床スラブ等はつり補修は本工事。仕上げ補修は建築工事。

保健室	ステンレス流し	1500x600x80H 2槽式	1
	混合水栓	TKG31E	2
	洗濯機パン	PWP630NRW	1
	洗濯用水栓	TW11R	1

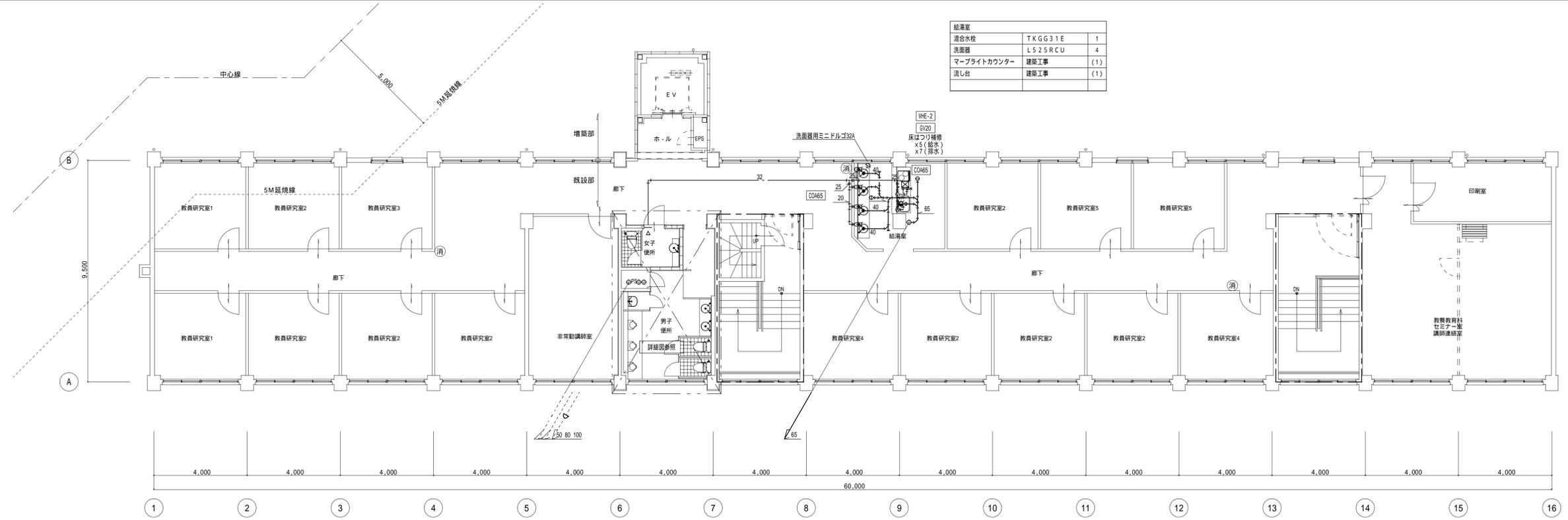
学生課	混合水栓	TKG31E	1
	流し台	建築工事	1

足洗1機	ホム水栓	T205NR13	4
------	------	----------	---

記	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	18/34		
	事	株式会社	ムーバートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	給排水衛生設備 改修後 1階・2階平面図	縮尺	1/100	番号



改修後 R階平面図 1/100

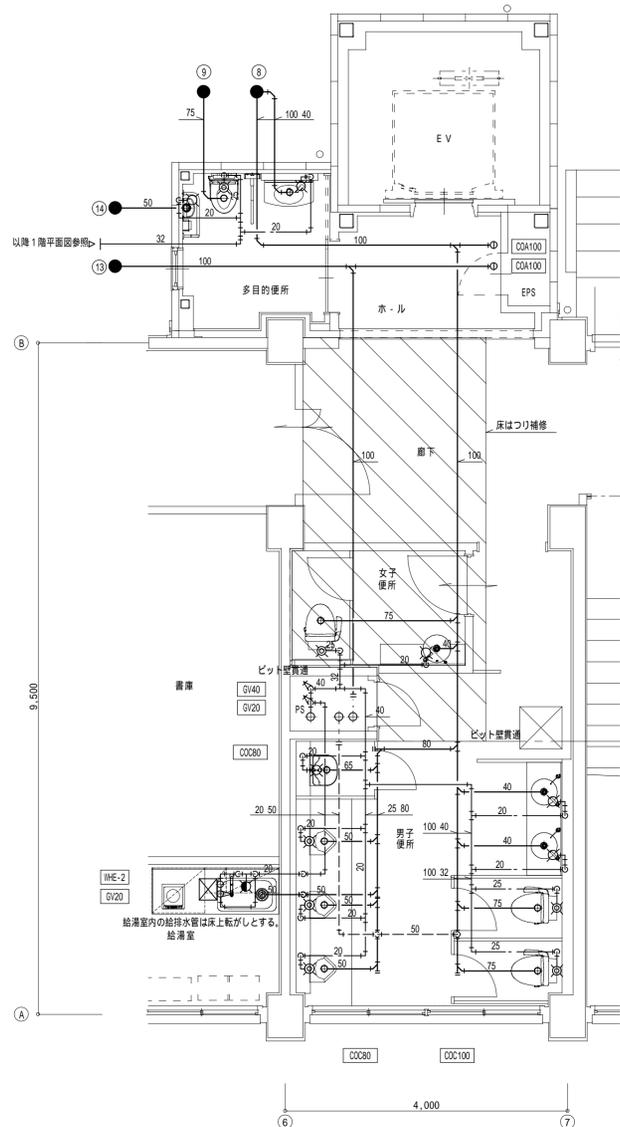


改修後 3階平面図 1/100

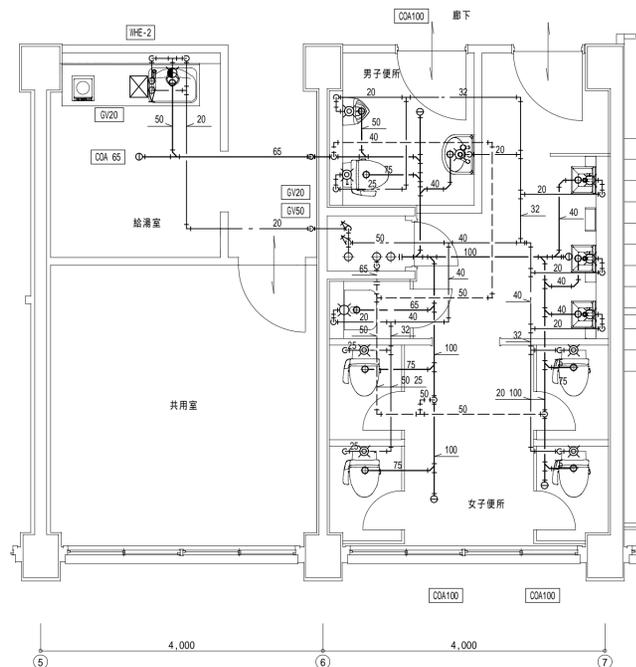
- 註) 1. ( )内サイズは天井配管を示す。  
 2. はサッシアルミバルブ部費通ヶ所を示す  
 3. は壁・床コア抜き補修ヶ所を示す。  
 4. 流し台等のライニング設置は建築工事。

凡例	
———	給水管
———	排水管
———	通気管
———	既設管

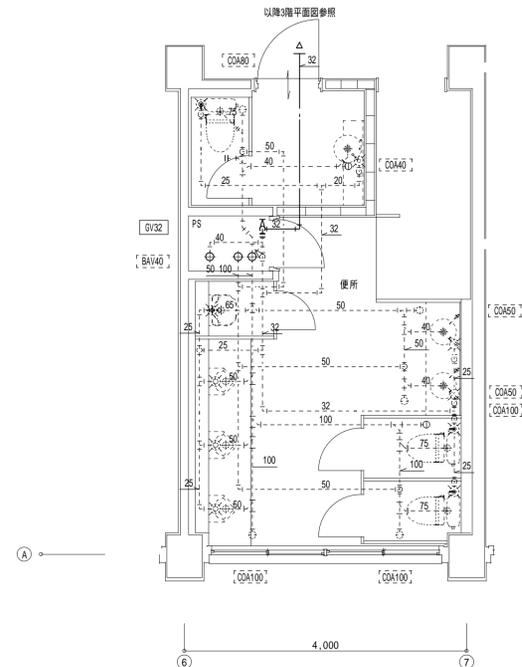
記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	19/34	
	株式会社	ムーバートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	給排水衛生設備 改修後 3階・R階平面図	縮尺	1/100	番号



改修後 1階便所及び洗面所詳細図 1/50



改修後 2階便所及び洗面所詳細図 1/50



改修後 3階便所及び洗面所詳細図 1/50

男子便所		女子便所	
洋風大便器	CES469HNS 2	洋風大便器	CES469HNS 1
壁掛小便器	UFS800CE 3	ポータル一体型洗面器	水性・排水金具等のみ 1
洗面器	LS25RCU 2		
掃除用流し	SK22A 1		
マーブライカウンター	建築工事 (1)		
給湯室(給湯課)		多目的便所	
混合水栓	TKGG31E 1	多目的大便器	C480AN 1
流し台	建築工事 1	洗面器	L270C 1
		手洗器	LSE570AP 1
		はね上げ手すり	建築工事 (1)
		L型手すり	建築工事 (1)

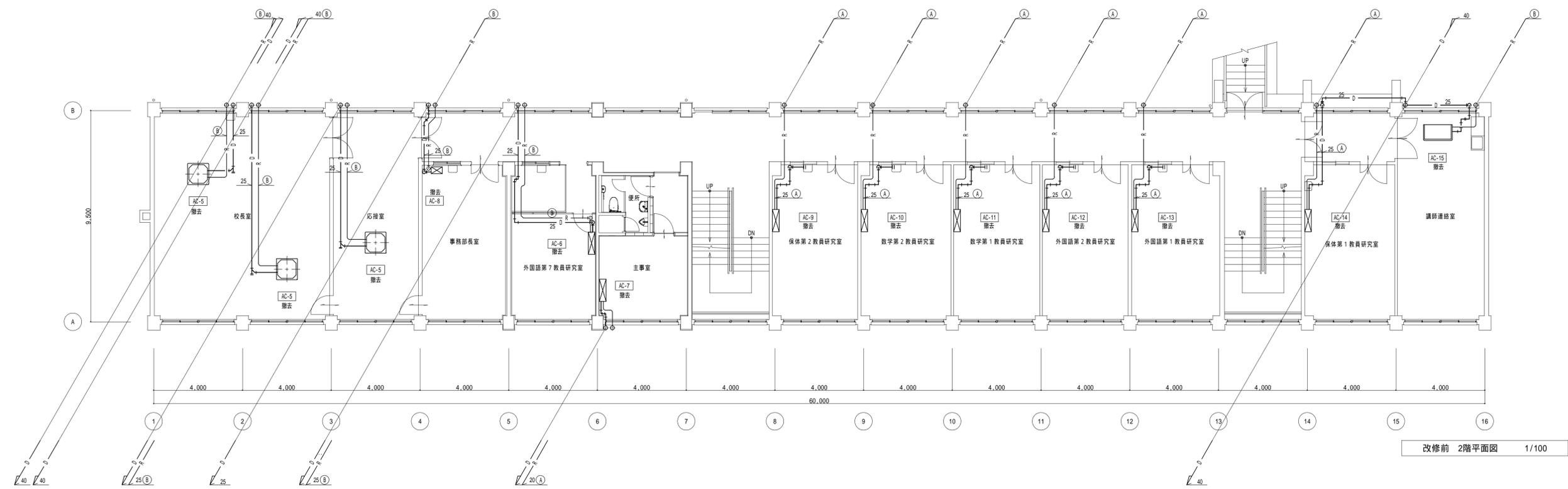
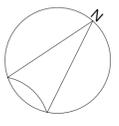
給湯室		女子便所	
混合水栓	TKGG31E 1	洋風大便器	CES469HNS 4
流し台	建築工事 1	洗面器	LSE130AP 3
		掃除流し	SK22A 1
		化粧鏡	建築工事 (6)
		化粧鏡	建築工事 (3)
男子便所			
洋風大便器	CFS469HNS 1		
壁掛小便器	UFS800CE 1		
洗面器	L250C 1		

註) 1. ( )内サイズは天井配管を示す。  
 2. はサッシアルミパネル部貫通ヶ所を示す  
 3. は壁・床コア抜き補修ヶ所を示す。  
 4. 流し台等のライニング設置は建築工事。  
 5. 衛生器具設置の為の下地補強は建築工事とする。  
 6. 室内の床スラブ等がはつり補修は本工事。  
 仕上げ補修は建築工事。

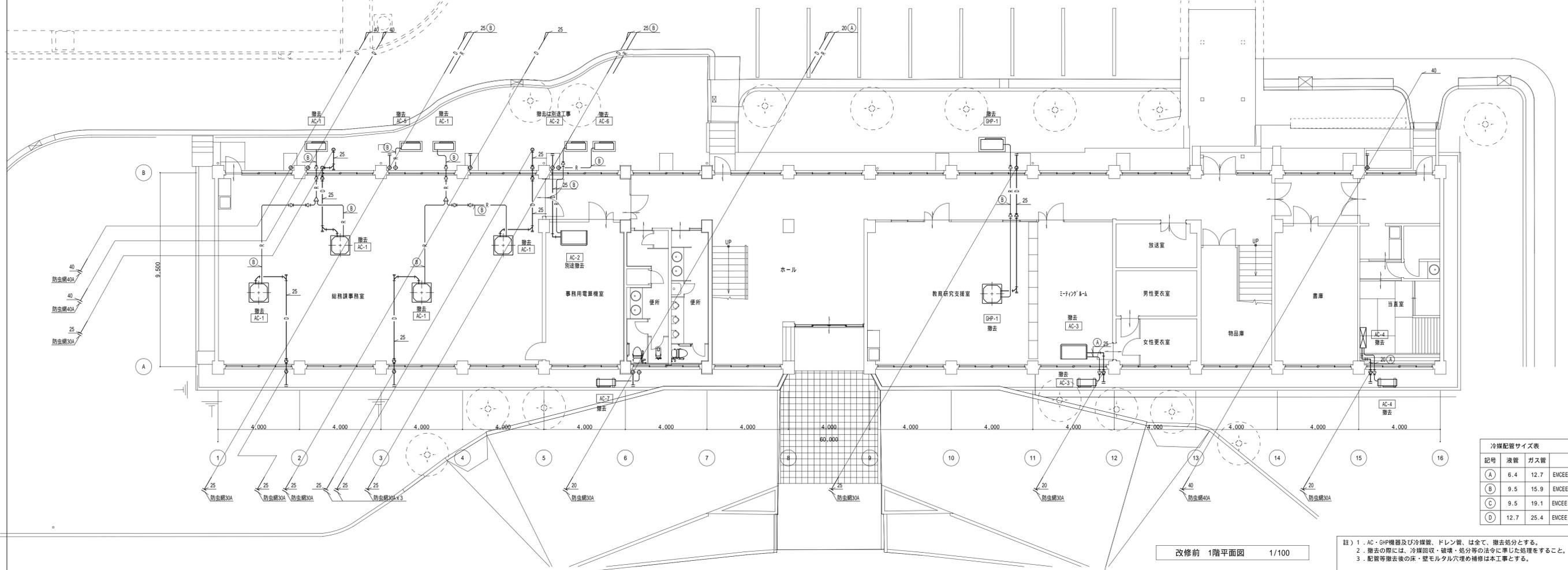
凡例	
———	給水管
———	排水管
———	通気管
———	既設管

記	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	20/34	
	事	株式会社 ミューパートナーズ	管理建築士 一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当					事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	給排水衛生設備 改修後 各階便所詳細図	縮尺	1/50	番号





改修前 2階平面図 1/100

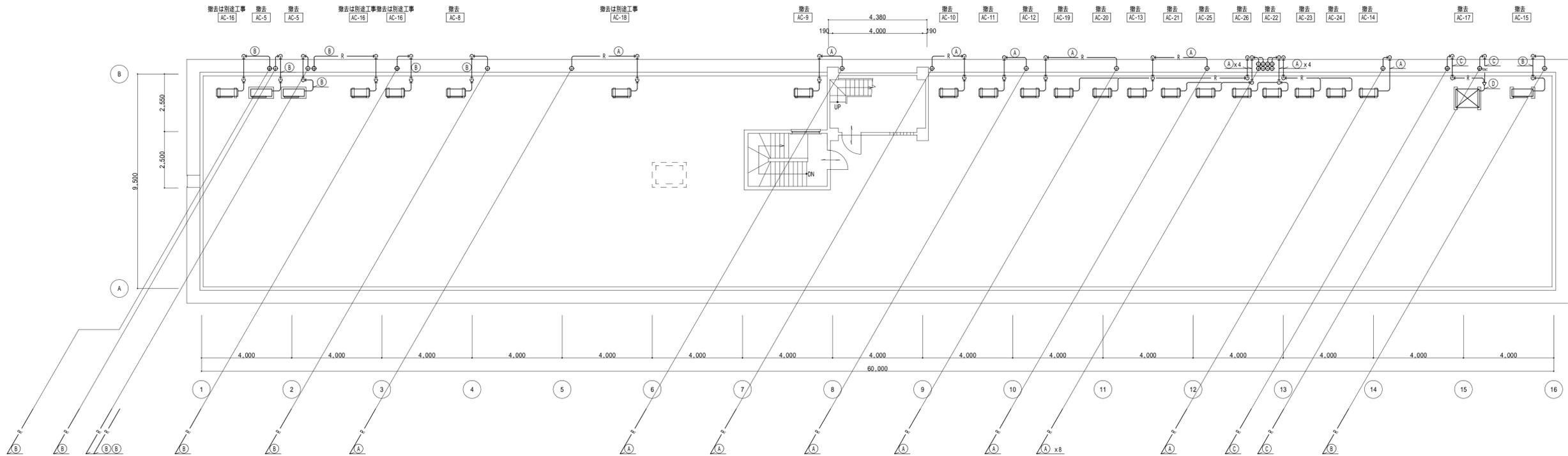
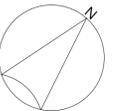


改修前 1階平面図 1/100

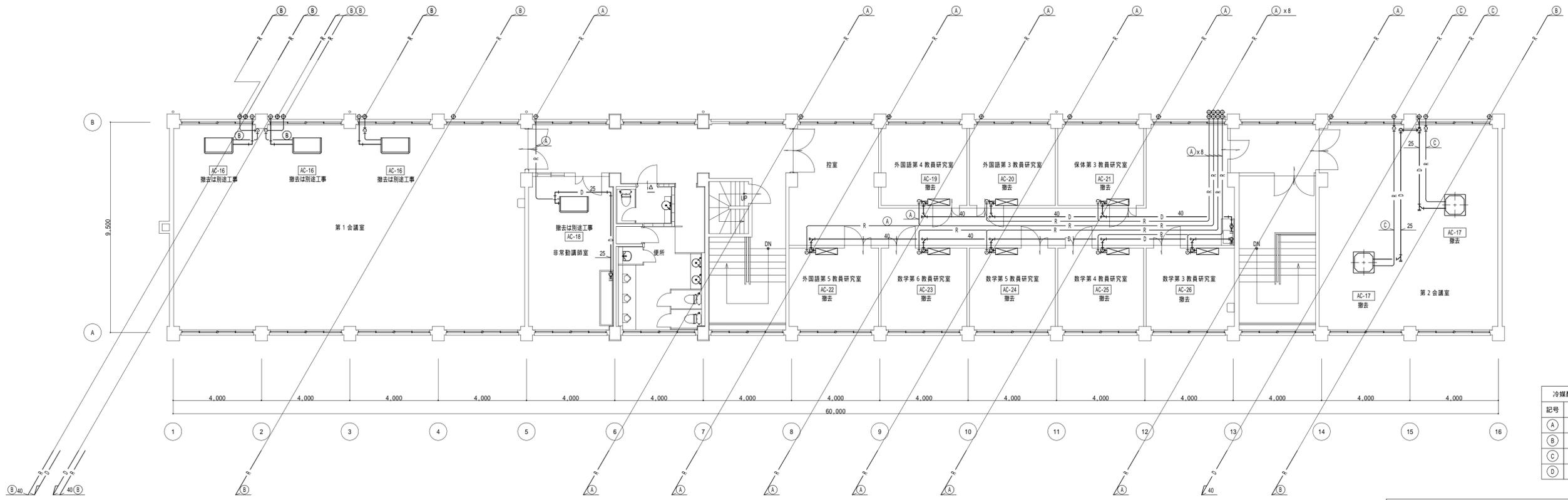
記号	液管	ガス管	
(A)	6.4	12.7	EMCEE-1.25 x3C
(B)	9.5	15.9	EMCEE-1.25 x3C
(C)	9.5	19.1	EMCEE-1.25 x3C
(D)	12.7	25.4	EMCEE-1.25 x3C

- 註) 1. AC・GHP機器及び冷媒管、ドレン管、は全て、撤去処分とする。  
 2. 撤去の際には、冷媒回収・破壊・処分等の法令に準じた処理をすること。  
 3. 配管等撤去後の床・壁モルタル穴の補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	22 / 34
	株式会社	ムーバートナース				棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
		管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮													空調・換気設備 改修前 1階・2階平面図(配管)	1/100	M-19



改修前 R階平面図 1/100

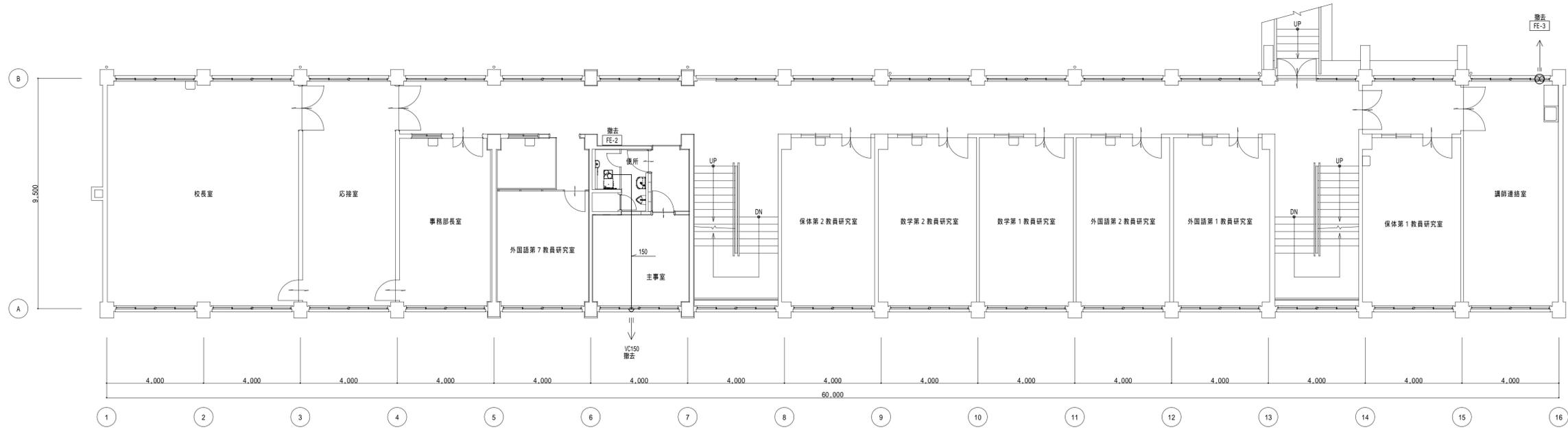
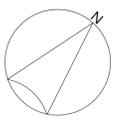


改修前 3階平面図 1/100

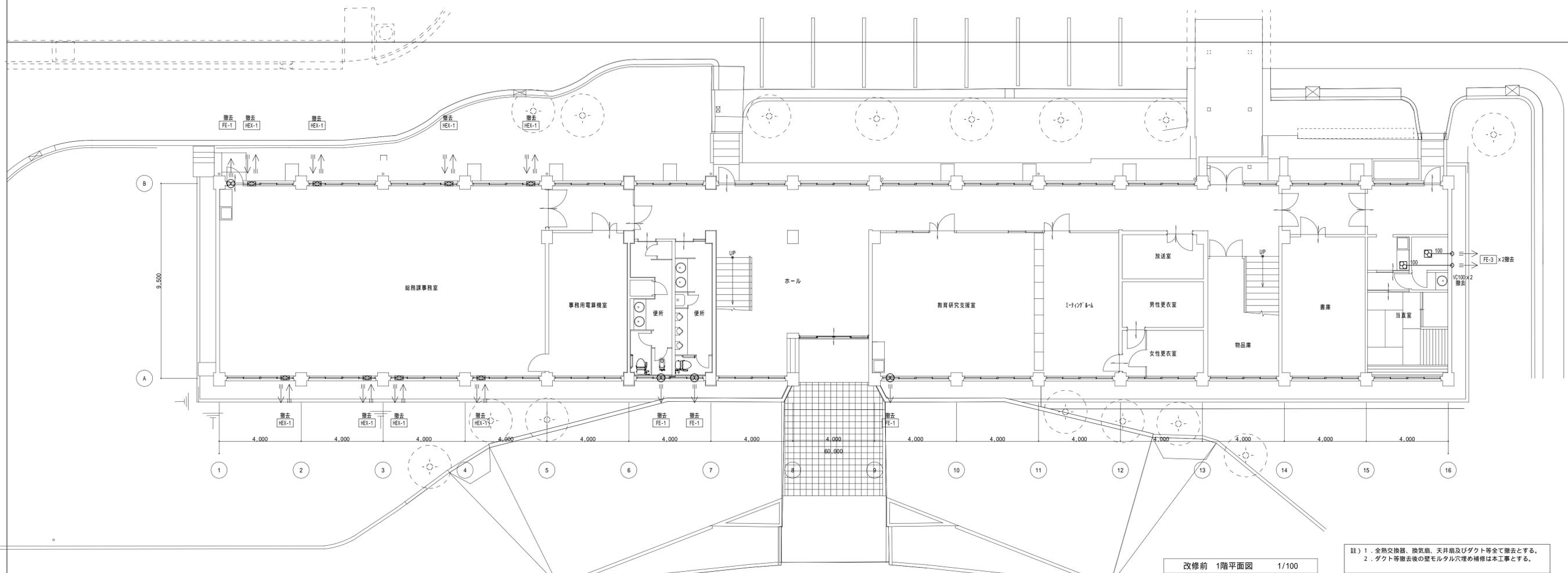
記号	液管	ガス管	配管
(A)	6.4	12.7	EMCEE-1.25 x3C
(B)	9.5	15.9	EMCEE-1.25 x3C
(C)	9.5	19.1	EMCEE-1.25 x3C
(D)	12.7	25.4	EMCEE-1.25 x3C

- 註) 1. AC・GHP機器及び冷媒管、ドレン管、は全て、撤去処分とする。
- 2. 撤去の際には、冷媒回収・破壊・処分等の法令に準じた処理をすること。
- 3. 配管等撤去後の床・壁モルタル穴の補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	23 / 34
		株式会社	ムーバートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
														空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(配管)	1/100	M-20	



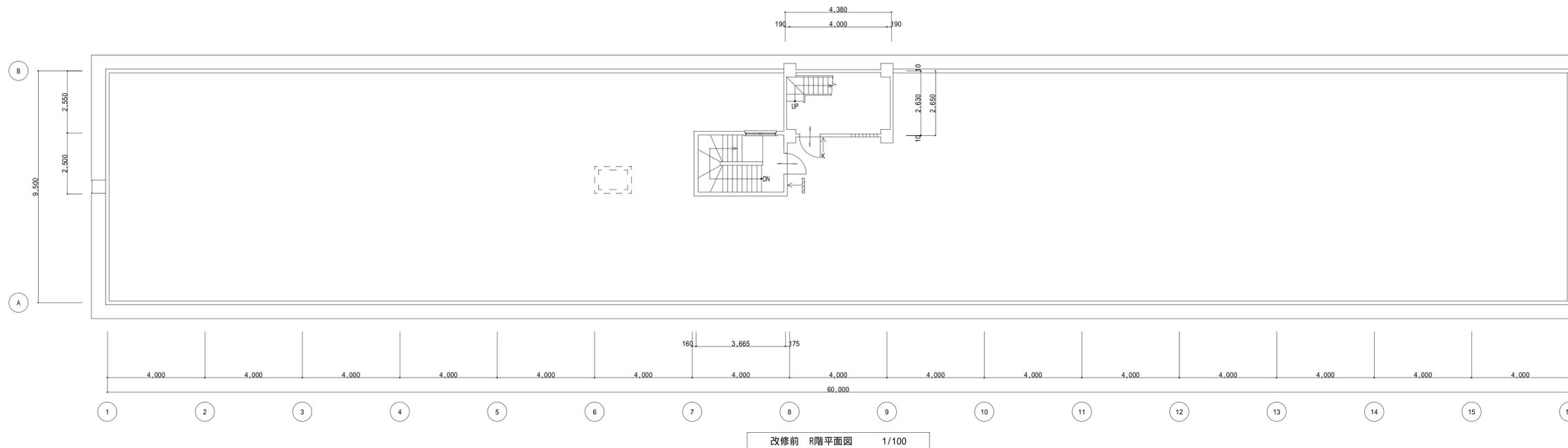
改修前 2階平面図 1/100



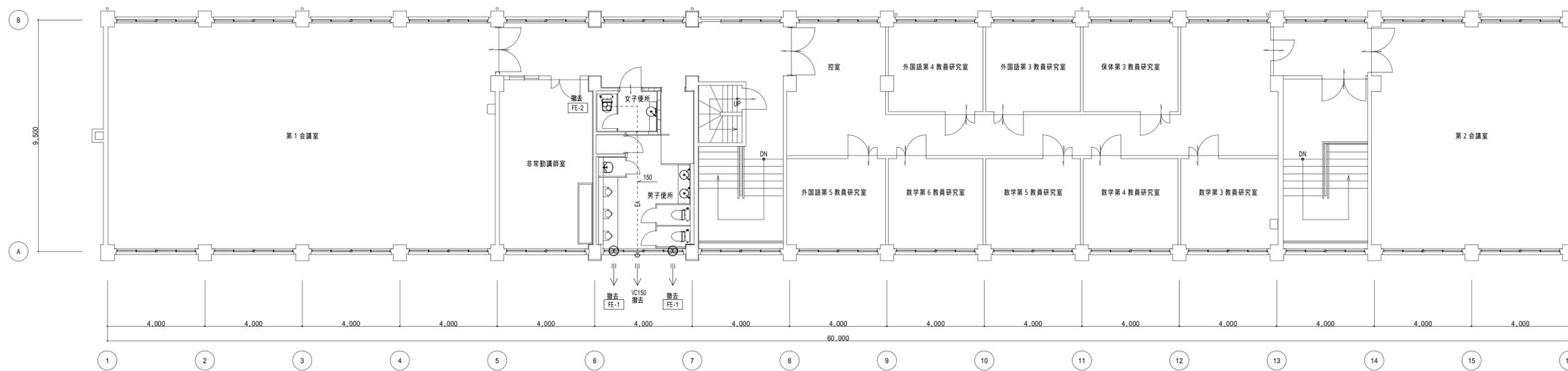
改修前 1階平面図 1/100

註) 1. 全熱交換機、換気扇、天井扇及びダクト等全て撤去とする。  
2. ダクト等撤去後の壁モルタル穴埋め補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	24 / 34		
	実施	株式会社 ミューパートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面名称	空調・換気設備 改修前 1階・2階平面図(ダクト)	縮尺	1/100	番号	M-21
	備考																				



改修前 2階平面図 1/100



改修前 3階平面図 1/100

—— 大線は撤去を示す  
 - - - - 細線は残置を示す

註) 1. 全熱交換機、換気扇、天井扇及びダクト等全て撤去とする。  
 2. ダクト等撤去後の壁モルタル穴埋め補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	25 / 34
	株式会社	ムーバートナース				株図	担当								図面名称	縮尺	番号
		管理建築士 一級建築士登録 第242551号 植田 亮													空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(ダクト)	1/100	M-22

凡例

A	CVV-S1.25-2C	マルチエアコンタイマー遅り
	CVV-S1.25-2C	マルチ集中コントローラ遅り
B	CVV-S1.25-2C	マルチ集中コントローラ遅り
	CVV-S1.25-3C	マルチ蓄熱コントローラ遅り
C	EM-CEE1.25-2C	
D	EM-CEE-S2.0-2C	
E	EM-CEE-S2.0-3C	

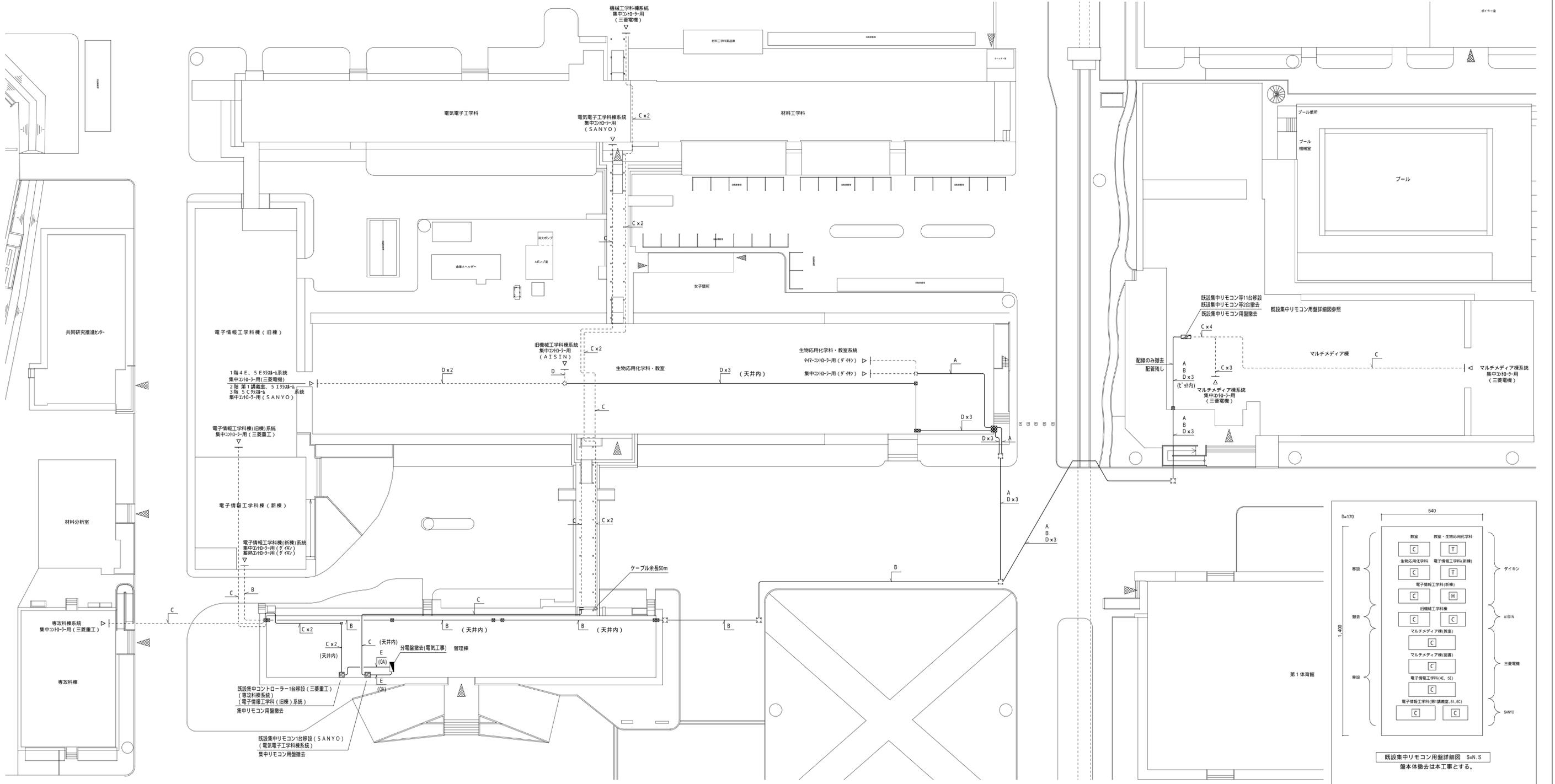
注) 1. 既設状況を調査の上施工を行うこと。  
 2. 壁内・埋設配管は残置とし、配線のみ撤去とする。  
 3. 配管撤去後の穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げは建築工事とする。

機器凡例

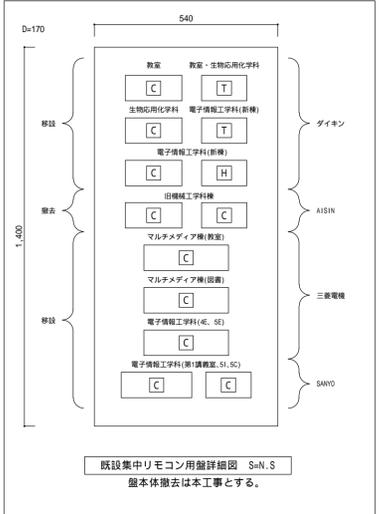
□	ブルボックス
⊗	アウトレットボックス
⊕	集中コントローラ (液晶パネル式)
⊖	集中リモコン
⊙	タイマーコントローラ
⊚	蓄熱コントローラ

線凡例

—	ケーブルこらし配線
—	露出部配管配線
—	天井廻り部配管配線
—	埋設部配管配線
—	架空配管
—	太線は撤去を示す
---	点線は既設を示す

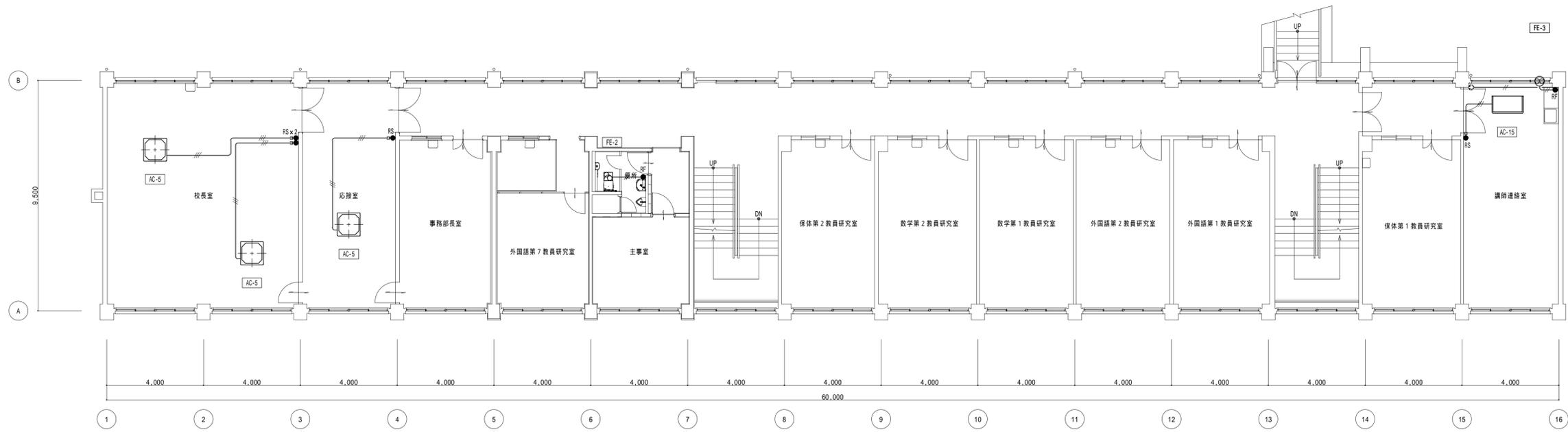
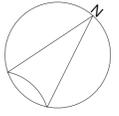


外構配置図 1 / 300

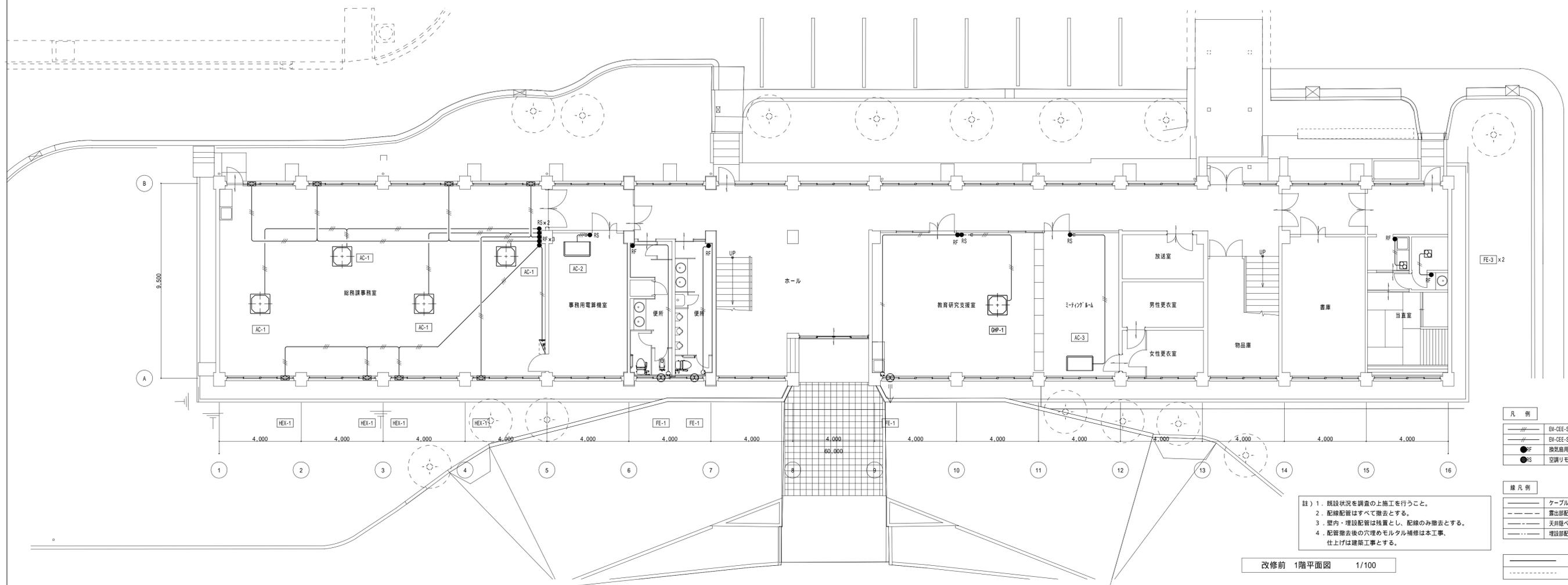


記	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	26 / 34
事		株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
															空調・換気設備 改修前 外構配置図(計装)	1 / 300	M-23

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面図 1/100



改修前 1階平面図 1/100

凡例

	EN-CEE-S1.25-3C
	EN-CEE-S2.0-2C
	換気扇用スイッチ
	空調リモコン

線凡例

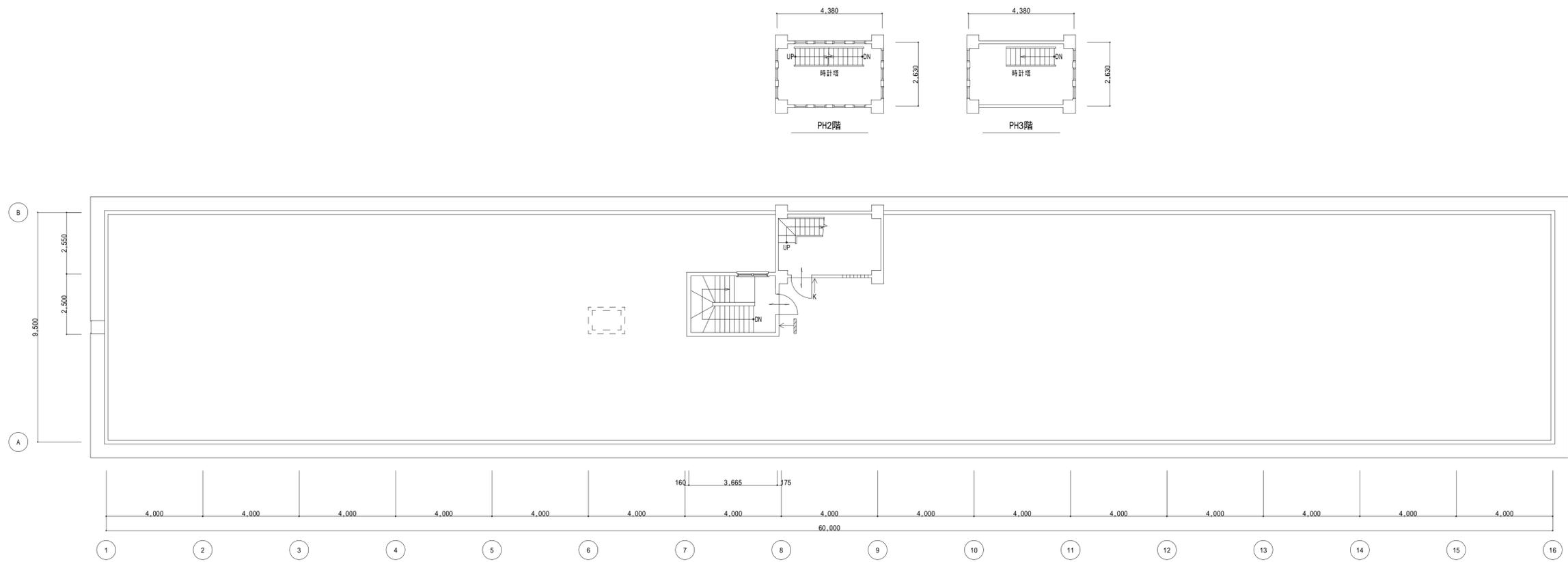
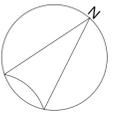
	ケーブルこすり配線
	露出部配線配線
	天井埋込み配線配線
	埋設部配線配線

- 注) 1. 既設状況を調査の上施工を行うこと。  
 2. 配線配管はすべて撤去とする。  
 3. 壁内・埋設配管は残置とし、配線のみ撤去とする。  
 4. 配管撤去後の穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げは建築工事とする。

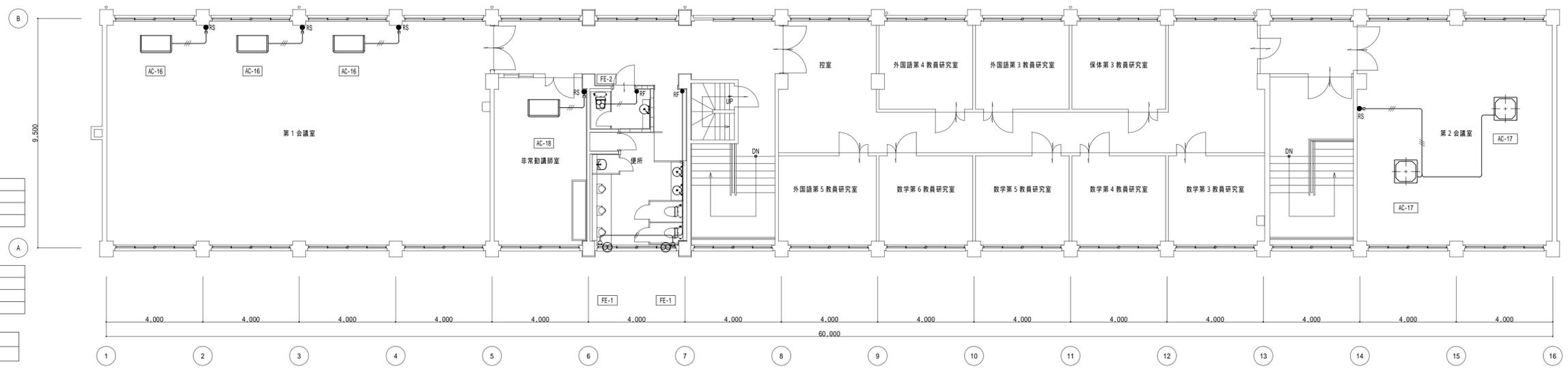
	太線は撤去を示す
	点線は既設を示す

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	27 / 34
	株式会社	ムーバートナーズ	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	縮尺	1/100	番号

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 R階平面図 1/100

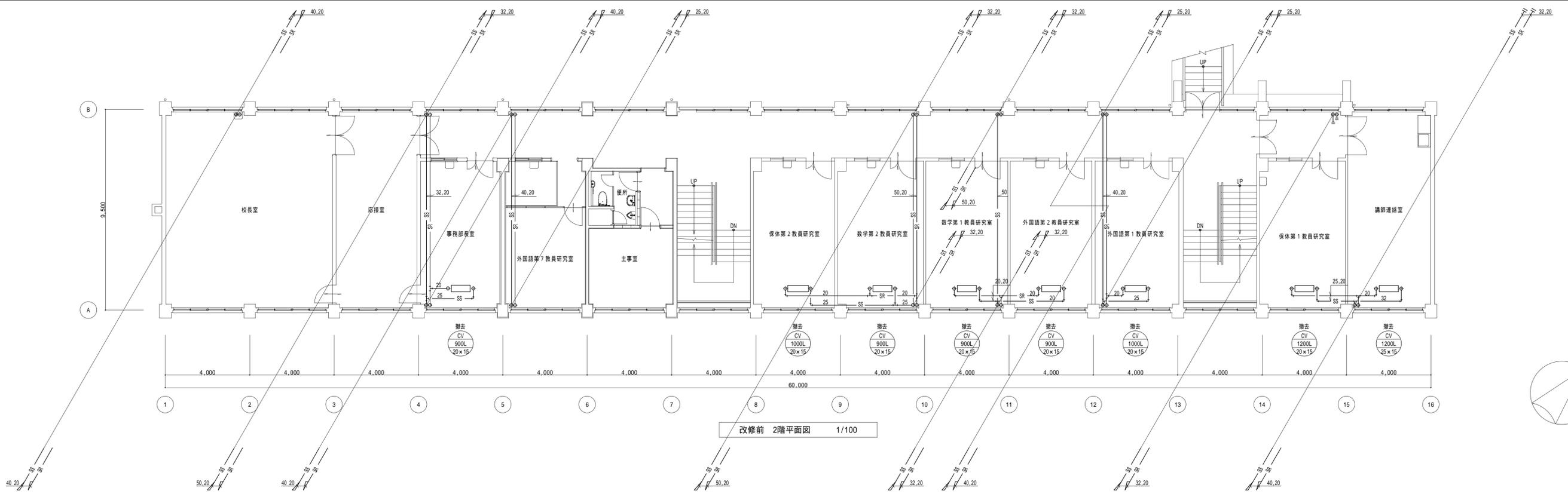


改修前 3階平面図 1/100

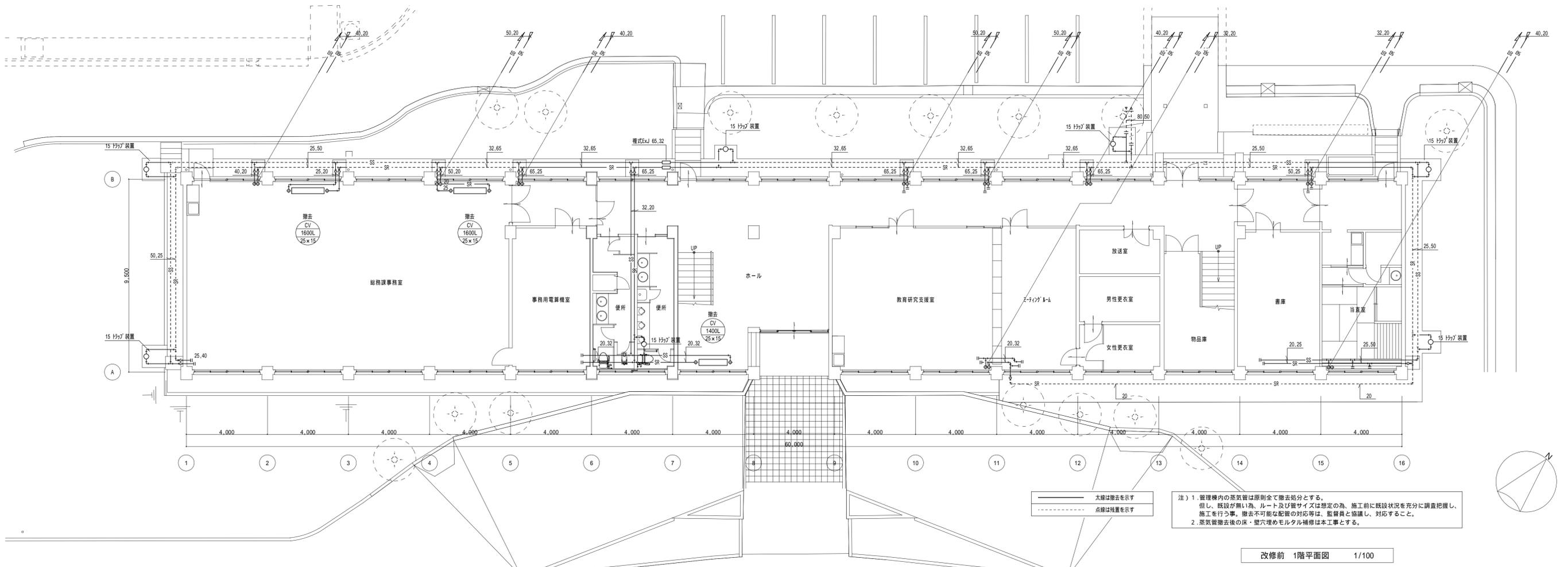
- 凡例**
- EH-CEE-S1.2S -3C
  - EH-CEE-S2.0 -2C
  - PF 換気扇用スイッチ
  - RS 空調リモコン
- 線凡例**
- ケーブルころかし配線
  - 露出部配管配線
  - 天井へ11部配管配線
  - 埋設部配管配線
- 太線は撤去を示す  
点線は既設を示す

註) 1. 既設状況を調査の上施工を行うこと。  
 2. 配管配線はすべて撤去とする。  
 3. 壁内・埋設配管は残置とし、配線のみ撤去とする。  
 4. 配管撤去後の穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げは建築工事とする。

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数		
	株式会社	ミューパートナーズ	管理建築士 一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	28 / 34
																図面名称	縮尺	番号
																空調・換気設備 改修前 3階・R階平面図(計装)	1/100	M-25



改修前 2階平面図 1/100

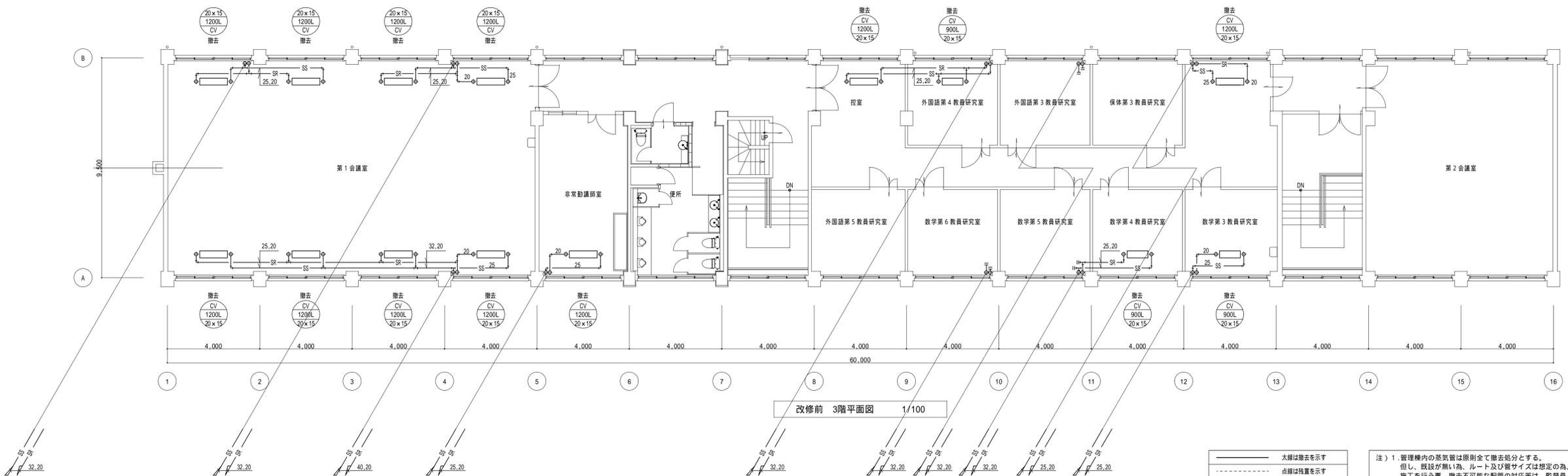
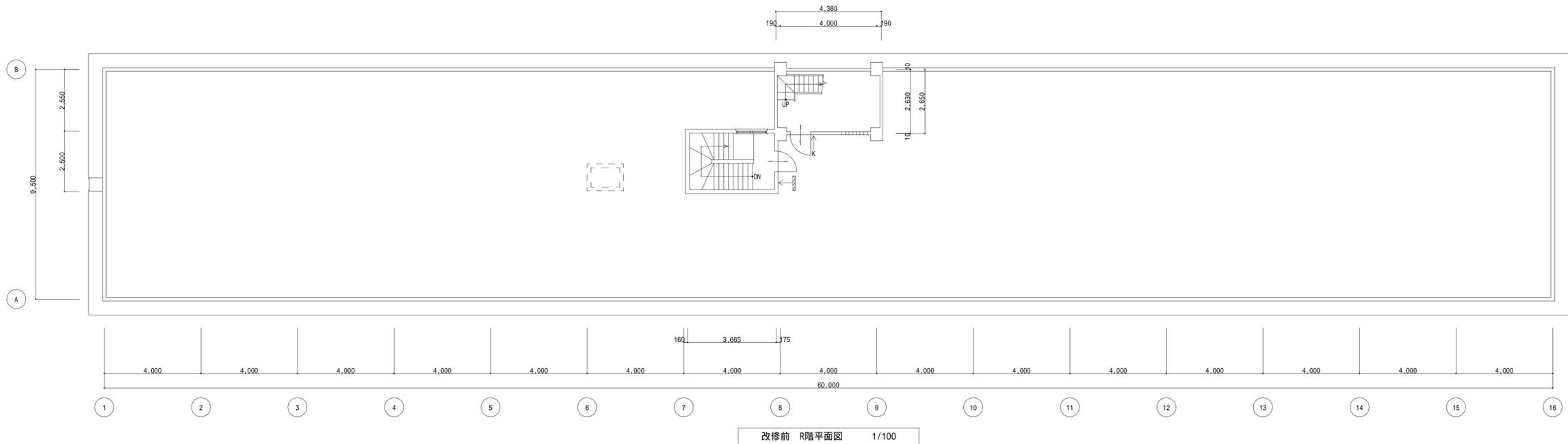
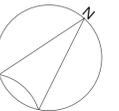


改修前 1階平面図 1/100

本線は撤去を示す  
 点線は残置を示す

注) 1. 管理棟内の蒸気管は原則全て撤去処分とする。  
 但し、既設が無い為、ルート及び管サイズは想定の為、施工前に既設状況を十分に調査把握し、  
 施工を行う事。撤去不可能な配管の対応等は、監督員と協議し、対応すること。  
 2. 蒸気管撤去後の床・壁穴埋めモルタル補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	29 / 34
	棟図	株	担	担	担	担	担	担	担	担	担	担	担	図面名称	暖房設備 改修前 1階・2階平面図	縮尺	1/100	番号	M-26
		株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士 一級建築士登録 第242551号 植田 亮																	



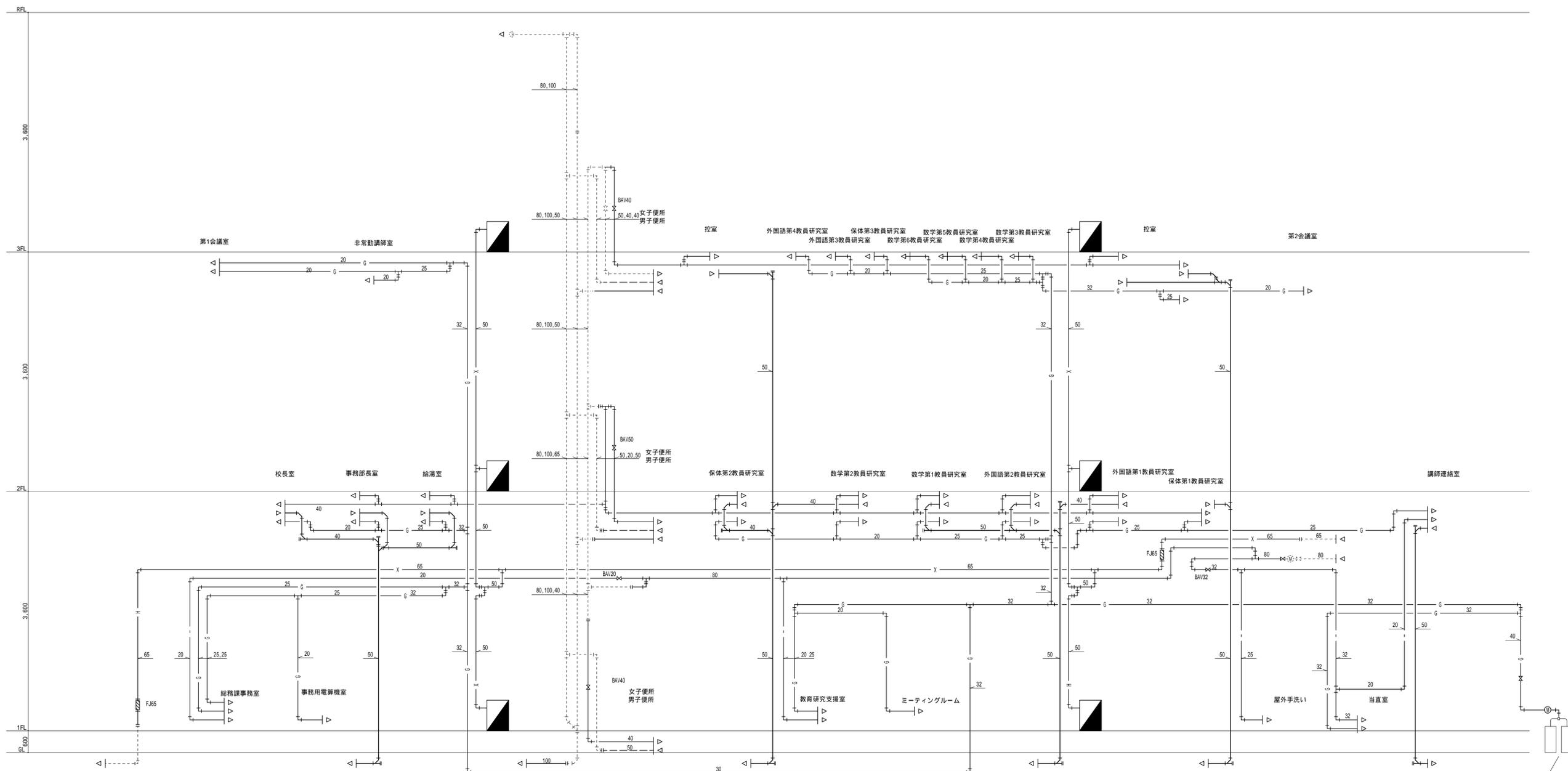
注) 1. 管理棟内の蒸気管は原則全て撤去処分とする。  
 但し、既設が無い為、ルート及び管サイズは想定の為、施工前に既設状況を十分に調査把握し、  
 施工を行う事。撤去不可能な配管の対応等は、監督員と協議し、対応すること。  
 2. 蒸気管撤去後の床・壁穴埋めモルタル補修は本工事とする。

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	30 / 34
	株式会社	ムーバートナーズ				棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
		管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮													暖房設備 改修前 3階・R階平面図	1 / 100	M - 27

衛生 機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考
			V	kW			
GH-1	ガス給湯器	型式: 屋内壁掛形 給湯能力: 5号 先止め式	-	-	6	計	
					(2)	1F 総務課事務室、教育研究支援室	
					(2)	2F 給湯室、講師連絡室	
				(2)	3F 非常勤講師室、控室		
GH-2	ガス給湯器	型式: 屋内壁掛形(上方排気) 給湯能力: 1.6号 ガス消費量: LPG 34.9kW 付属品 排気筒	1	100	0.074	1	1F 当直室
H-1	屋内消火栓格納箱	型式: 露出型 付属品: バルブ、ホース、ノズル、ホース架	-	-	-	6	計
						(2)	1F
						(2)	2F
				(2)	3F		

—— 太線は撤去を示す  
- - - - 細線は既設を示す

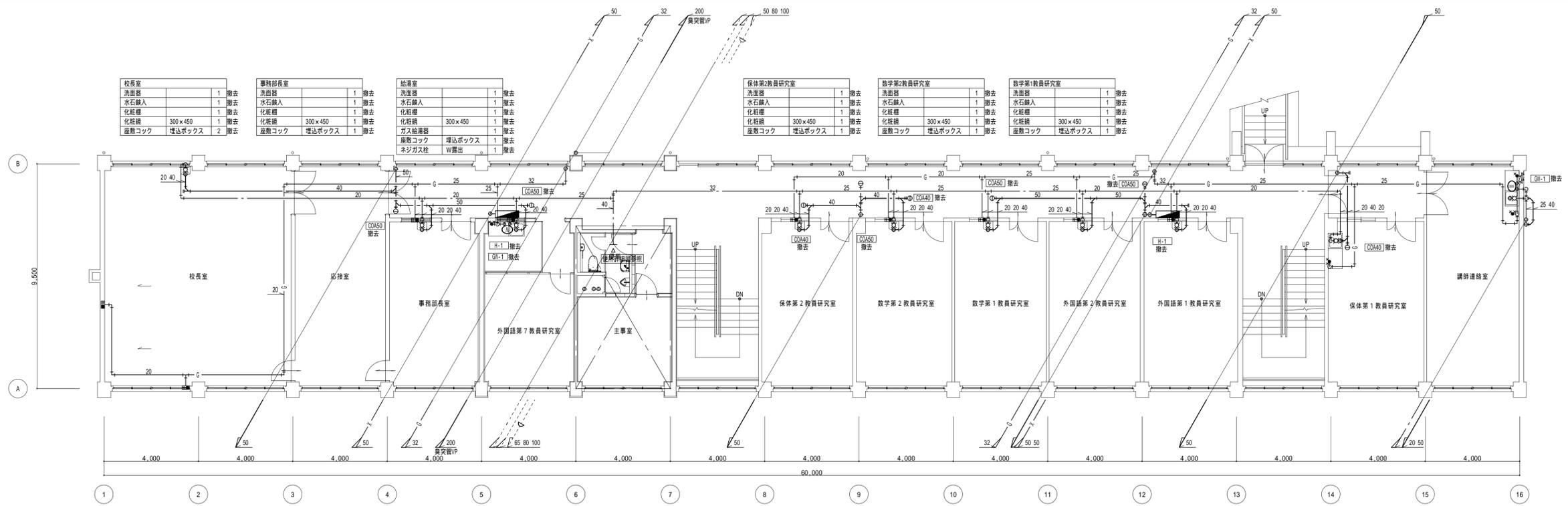
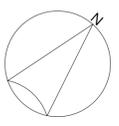


系統図

ガスボンベ(50kg)×6本  
集合装置

記 事	設計業務名	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数					
		鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	平成26年7月	31 / 34
	株式会社	ニューパートナーズ				棟図	担当								図面名称	縮尺	番号
		管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮													給排水衛生設備 改修前 系統図	1/	M-28

A3版の場合は50%縮尺とする



改修前 2階平面図 1/100

校長室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	2	撤去

事務部長室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

給湯室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	ガス給湯器	1	撤去	
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去
	ネジガス栓	W露出	1	撤去

保体第2教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

数学第2教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

数学第1教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

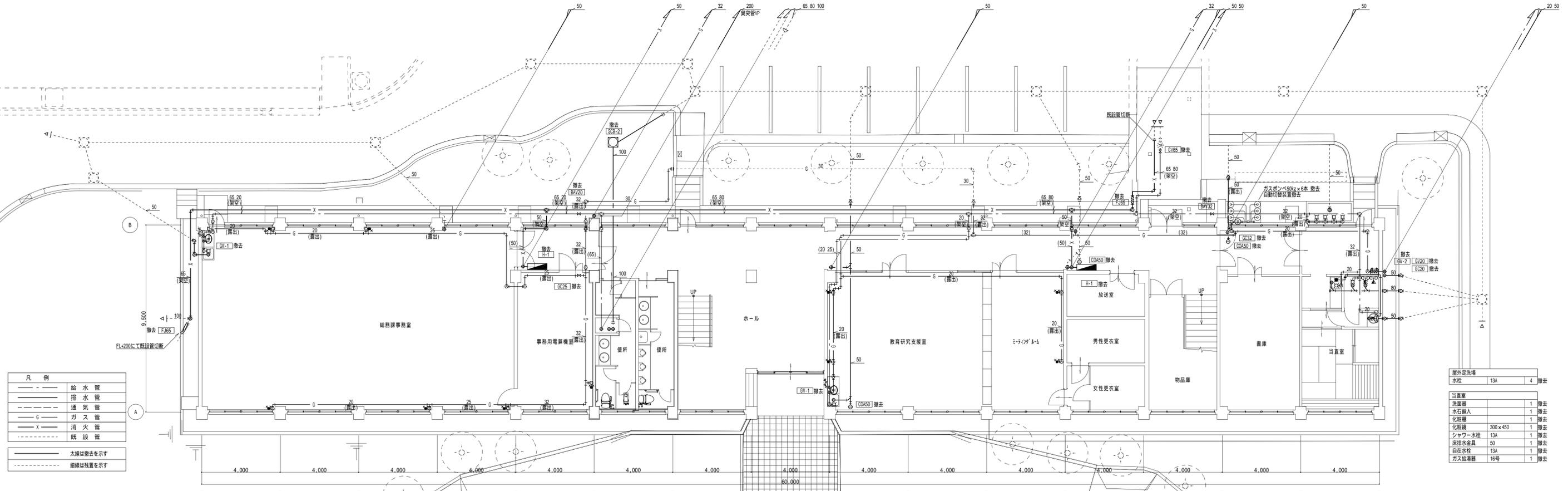
外国語第2教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

外国語第1教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	座敷コック	埋込ボックス	1	撤去

保体第1教員研究室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	ネジガス栓	W露出	1	撤去
	床上げ排出口	40	1	撤去

講師連絡室	ガス瞬間湯沸器	5号型	1	撤去
	暖房用コック	2口	1	撤去
	ネジガス栓	S露出	1	撤去
	水栓	13A	1	撤去

廊下	屋内消火栓	2	撤去	
	浴衣式自在水栓	13A	1	撤去
	研出流トラップ	埋込ボックス	1	撤去
	床上げ排出口	50	5	撤去
	床上げ排出口	40	2	撤去



改修前 1階平面図 1/100

凡例	給水管
	排水管
	通気管
	ガス管
	消火管
	既設管
	太線は撤去を示す
	細線は残置を示す

- 註) 1. 撤去可能な配管は全て撤去処分とする。  
 2. 壁内・埋込配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 3. ガス埋込ボックス撤去後のモルタル補修は本工事とし、仕上げ補修は建築工事とする。  
 4. 壁内・埋込配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 5. 配管撤去後の床・壁穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げ補修は建築工事とする。  
 6. 既設状況を充分調査の上、施工を行うこと。  
 7. ( ) 内サイズは天井配置を示す。

総務課事務室	ガス給湯器	5号	1	撤去
	水栓	13A	1	撤去
	暖房用コック	2口	5	撤去

事務用電算機室	暖房用コック	2口	1	撤去
---------	--------	----	---	----

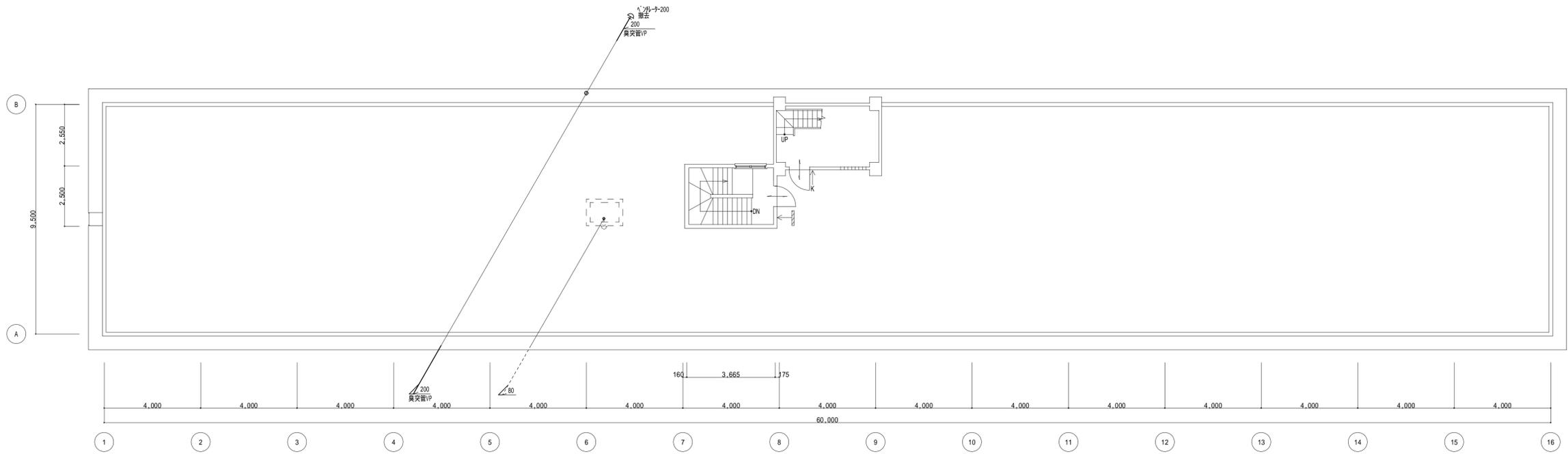
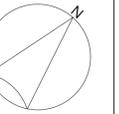
教育研究支援室	ガス給湯器	5号	1	撤去
	水栓	13A	1	撤去
	暖房用コック	2口	2	撤去

ミーティングルーム	暖房用コック	2口	2	撤去
-----------	--------	----	---	----

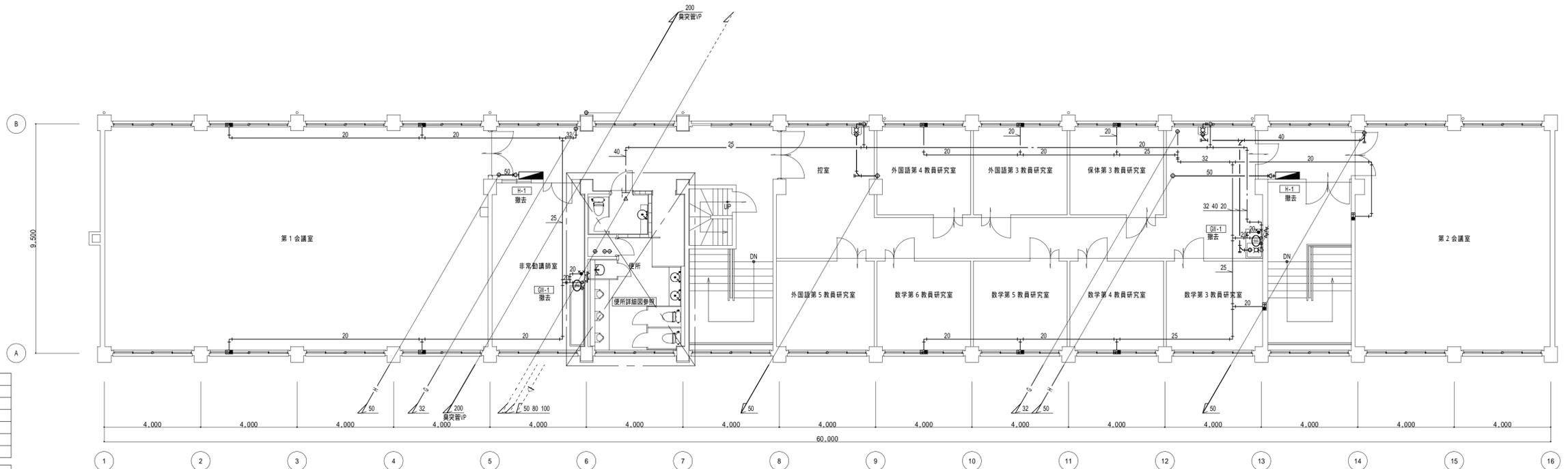
屋外足洗場	水栓	13A	4	撤去
-------	----	-----	---	----

当直室	洗面器	1	撤去	
	水石鉢入	1	撤去	
	化粧鏡	1	撤去	
	化粧鏡	300×450	1	撤去
	シャワー水栓	13A	1	撤去
	高圧水栓	50	1	撤去
	自在水栓	13A	1	撤去
	ガス給湯器	16号	1	撤去

設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				棟図	担当	仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	日付	総数
	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮						施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長			
図面名称	給排水衛生設備 改修前 1階・2階平面図																
	縮尺 1/100 番号 M-29																



改修前 R階平面図 1/100



改修前 3階平面図 1/100

凡例	
—	給水管
- - -	排水管
—	通気管
G	ガス管
X	消火管
---	既設管
---	太線は撤去を示す
---	細線は残置を示す

- 註) 1. 撤去可能な配管は全て撤去処分とする。  
 2. 壁内・埋設配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 3. ガス埋込ボックス撤去後のモルタル補修は本工事とし、仕上げ補修は建築工事とする。  
 4. 壁内・埋設配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 5. 配管撤去後の床・壁穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げ補修は建築工事とする。  
 6. 既設状況を充分調査の上、施工を行うこと。  
 7. ( ) 内サイズは天井配管を示す。

第1会議室	座数コック	埋込ボックス	4	撤去
-------	-------	--------	---	----

非常勤講師室	ガス給湯器	5号	1	撤去
	ネジガス栓	W露出	1	撤去

外国語第4教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
------------	-------	--------	---	----

数学第6教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-----------	-------	--------	---	----

廊下	水栓	13A	1	撤去
	洗面器		2	撤去
	ガス給湯器	5号	1	撤去
	ネジガス栓	W露出	1	撤去

外国語第3教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
------------	-------	--------	---	----

数学第5教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-----------	-------	--------	---	----

数学第3教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-----------	-------	--------	---	----

保体第3教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-----------	-------	--------	---	----

数学第4教員研究室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-----------	-------	--------	---	----

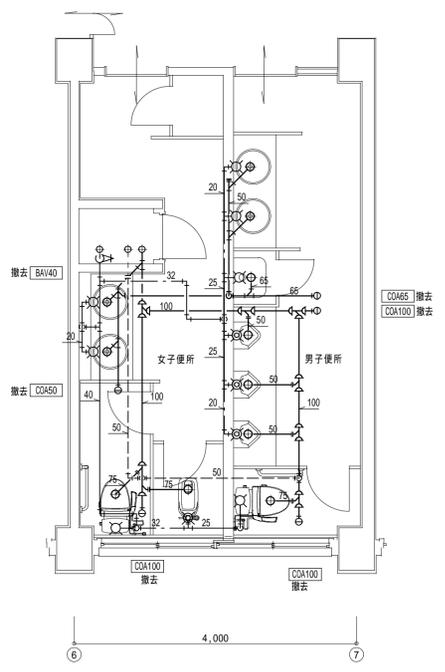
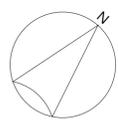
第2会議室	座数コック	埋込ボックス	1	撤去
-------	-------	--------	---	----

設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務			
株式会社	ムーバートナース	管理建築士一級建築士登録 第242551号	植田 亮	棟図

仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校			
施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長

工事名称				鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事			
日付				平成26年7月			
総数				33 / 34			
図面名称				給排水衛生設備 改修前 3階・R階平面図			
縮尺				1 / 100			
番号				M - 30			

日付	平成26年7月	総数	33 / 34
縮尺	1 / 100	番号	M - 30

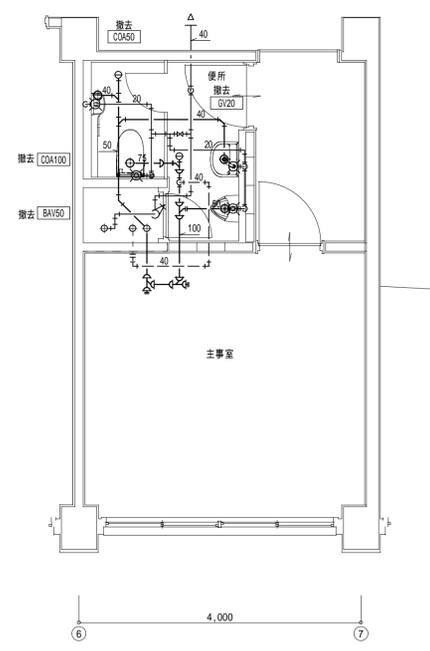


改修前 1階便所及び洗面所詳細図 1/50

1階男子便所			
洋風大便器	ロータンク式	1	撤去
小便器		3	撤去
洗面器		1	撤去
掃除流し		1	撤去

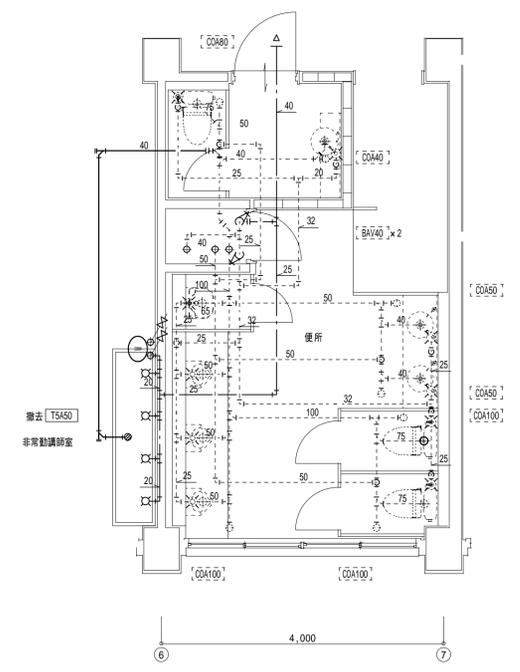
  

1階女子便所			
洋風大便器	ロータンク式	1	撤去
和風大便器	フラッシュ式	1	撤去
洗面器		1	撤去



改修前 2階便所及び洗面所詳細図 1/50

2階便所			
洋風大便器	ロータンク式	1	撤去
小便器		1	撤去
洗面器		1	撤去
化粧鏡	300×450	1	撤去



改修前 3階便所及び洗面所詳細図 1/50

非常勤講師室			
排水栓	13A	4	撤去
排水栓	5号	1	撤去
化粧鏡	300×450	1	撤去

凡 例	
———	給水管
———	排水管
———	通気管
———	ガス管
———	消火管
———	既設管
———	大線は撤去を示す
.....	細線は残置を示す

- 註) 1. 撤去可能な配管は全て撤去処分とする。  
 2. 壁内・埋設配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 3. ガス埋込ボックス撤去後のモルタル補修は本工事とし、仕上げ補修は建築工事とする。  
 4. 壁内・埋設配管は残置とし、末端部分はプラグ止めとする。  
 5. 器具・配管撤去後の床・壁穴埋めモルタル補修は本工事、仕上げ補修は建築工事とする。  
 6. 既設状況を充分調査の上、施工を行うこと。  
 7. ( ) 内サイズは天井配管を示す。  
 8. 和風大便器撤去後の床補修は建築工事とする。

記 事	設計業務名	鈴鹿工業高専管理棟改修設備設計等業務				仙台高等専門学校				鈴鹿工業高等専門学校				工事名称	鈴鹿工業高専管理棟改修その他機械設備工事	日付	平成26年7月	総数	34 / 34
	図面名称	株式会社 ミューパートナーズ 管理建築士一級建築士登録 第242551号 植田 亮				棟図	担当	施設課長	課長補佐	係長	担当	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	縮尺	1/50	番号